MITSUBISHI

三菱ワイド液晶ディスプレイ

Diamondcrysta WIDE

RDT235WLM/RDT235WLM-S シリーズ

(AX103)

取扱説明書

P2 もくじ

P3 ご使用の前に

P5 安全のために必ずお守りください

P9 使用上のお願い

P10 各部のはたらき

P12 使用の準備

P24 機能

P39 困ったとき

P46 付録

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ずお守りください」は、液晶ディスプレイをご使用の前に必ず読んで正しくお使いください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「セットアップガイド」は「保証書」と共に大切に保存してください。
- 必ず転倒・落下防止処置を実施してください。
  → P7, P48 を参照
- この取扱説明文書内のURLはクリックするとウェブサイトへリンクします。

「ディスプレイ」のウェブサイト：www.MitsubishiElectric.co.jp/display

INTERNET INFORMATION & DOWNLOADS SERVICE

製品登録のご案内

三菱電機では、ウェブサイトでのアンケートにお答えいただくとお客様に役立つ各種サービスをウェブサイトにて利用できる「製品登録サービス」を実施しております。
詳しくはこちらをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage

【個人のお客様】PCリサイクルマーク申込のご案内

ご注意:法人でご購入いただいた製品は無償提供の対象外です。

個人でディスプレイをご購入いただいたお客様には、無償で「PCリサイクルマーク」を提供しております。
ご購入後、お早めに下記のリサイクル窓口ウェブサイトからお申し込みください。（画面の PCリサイクルマーク申込 からお入りください。）

www.pc-eco.jp

もくじ

ご使用の前に

ご使用の前に ………………………… 3
何ができるの？ ………………………… 3
付属品の確認 ………………………… 4
本書の見かた ………………………… 4

安全のために必ずお守りください

安全のために必ずお守りください ………… 5

使用上のお願い

使用上のお願い ………………………… 9
液晶ディスプレイの上手な使い方 ………… 9

各部のはたらき

各部のはたらき ………………………… 10
本体正面 ………………………… 10
本体背面 ………………………… 11

使用の準備

使用の準備 ………………………… 12
使用するための流れ ………………………… 12
[準備 1] ベーススタンドを取付ける ……… 13
[準備 2] ディスプレイとコンピューターを接続する ………… 14
1 台のコンピューターを接続 ………… 14
2 台のコンピューターを接続 ………… 14
2 台または 3 台のコンピューターを接続 …… 15
コンピューターの音声出力端子と接続 ……… 16
[準備 3] ディスプレイと AV 機器を接続する ………… 17
HDMI 出力に対応した機器との接続 ……… 17
[準備 4] 電源コードを本機に接続する …… 18
[準備 5] ケーブルをまとめる ………… 18
[準備 6] 電源プラグのアース線を接続する ………… 18
[準備 7] 電源プラグを AC100 V 電源コンセントに接続する ………… 18
[準備 8] 設置する ………… 19
[準備 9] 画面の角度を調節する ………… 19
[準備 10] ヘッドホンを接続する ………… 20
[準備 11] 画面調節 ………… 21
オートセットアップをする（D-SUB 入力のとき） ………… 21
[準備 12] Windows® セットアップ情報 … 22
[準備 13] 省エネ設定をする ………… 23
ECO 設定の変更 ………… 23
ECO メーターの表示 ………… 23

機能

OSD 画面の構成 ………… 24
OSD の基本操作 ………… 25
OSD メニュー一覧 ………… 26
画質 ………… 27
映像モード ………… 28
調整 ………… 29
音声 ………… 30
ECO PROF. ………… 31
ツール ………… 32,33
OSD / 情報 ………… 34
OSD 機能の補足説明 ………… 35,36
工場プリセットタイミング ………… 37
その他の機能について ………… 38

困ったとき

故障かな？と思ったら ….. 39,40,41,42,43
本機を廃棄するには ………… 44
保証とアフターサービス ………… 45
個人情報の取り扱い ………… 45

付録

再梱包するとき ………… 46
市販のアームを取り付けるとき ………… 47,48
用語解説 ………… 49,50
仕様 ………… 51
さくいん ………… 52

ご使用の前に

何ができるの？

省エネで節約

ECO Professional機能 (ECO PROF.) →P23, P31

ECO設定にて使用時の消費電力を節電できるほか、ECOメーターで現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示するなど、省エネに配慮した設定をすることができます。

パワーマネージメント機能 → P38

待機電力は、スリープモード時0.5W以下/オフモード時0.35W以下です。

コンテンツに合った適切な画質を簡単設定

DV MODE (Dynamic Visual MODE) 機能 → P28,P35

スタンダード、IVテキスト、青色低減、sRGB、TV、シネマ、ルックアップの7つのモード設定から、お好みに応じた画質モードをお選びいただけます。

複数台のコンピューターや AV 機器と接続可能

3系統入力 → P11, P15

アナログ出力とデジタル出力のコンピューターを本機につなぎ、画面を切り換え表示させせることができます。

HDMI出力に対応したコンピューターやAV機器との接続(HDMI端子) → P11, P17

コンピューターやAV機器とHDMI接続することができます。

HDCP対応(DVI-D端子) → P17

HDCPで保護された映像コンテンツを表示することができます。

オーバースキャン機能搭載 → P28

AV信号を表示する場合、映像によっては画面の周囲にノイズが見えることがあります。
「オーバースキャン」の設定を変更することで、画面の外周部をカットし、ノイズを隠すことができます。

精緻な階調表現力を生かした、高精度なガンマ補正

10ビットガンマ機能 → P49

きめ細かく、滑らかな階調表現を実現します。

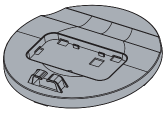
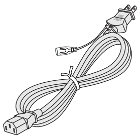
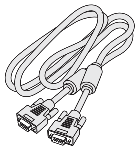
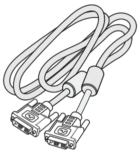
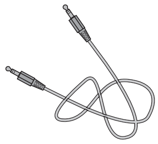
画面をお好みの状態に調節・設定できる

OSD(On Screen Display)機能 → P24～P36

画面の明るさ、表示位置やサイズの調節、カラー設定、ECO PROF.機能設定などをOSD画面により調節することができます。
OSD機能そのものに関する操作（OSD表示時間、操作ロックなど）もできます。

付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

セットアップガイド	ベーススタンド	電源コード	信号ケーブル	オーディオケーブル
		AC100V専用 	 	
保証書　（梱包箱に貼り付けてあります。）		本機専用です。安全のため、他の機器には使用しないでください。	ミニD-SUB15ピン-ミニD-SUB15ピン（アナログ接続用） DVI-D-DVI-D（デジタル接続用）	

本書の見かた

本書の表記のしかた

お 願 い ：取扱い上、特に守っていただきたい内容
お知らせ ：取扱い上、参考にしていただきたい内容
→ PXX ：参考にしていただきたいページ
Win Mac ：Windows®とMacintosh両方に関わる内容
Win ：Windows®のみに関わる内容
Mac ：Macintoshのみに関わる内容

知りたいことを探すために

やりたいことから探す→「何ができるの？」 → P3
言葉と意味で探す→「用語解説」 → P49
もくじで探す→「もくじ」 → 表紙, P2
さくいんで探す→「さくいん」 → P52

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。　VCCI-B

本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態でVCCI基準に適合しています。

本製品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン」に適合しています。

本製品はPC3R「PCグリーンラベル制度」の審査基準（★★☆Ver.12）を満たしています。
詳細は、Webサイトhttp://www.pc3r.jp をご覧ください。

本製品は「J-Mossグリーンマーク・ガイドライン」に基づくJ-Mossグリーンマークを表示しています。
「J-Moss（JIS C 0950）」に基づく特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有状況についての情報を公開しています。
詳細は、ウエブサイトwww.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment をご覧ください。
形名：RDT235WLM、RDT235WLM (BK)、RDT235WLM-S (BK)

■ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
■ 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
■ 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。

Diamondcrysta WIDE、ECO Professionalは、三菱電機株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
MacintoshはApple社の米国等における登録商標です。
HDMI、HDMIロゴおよび、High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
その他、この取扱説明書に記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

安全のために必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠危険	死亡や重傷を負うおそれが大きい内容です。
⚠警告	死亡や重傷を負うおそれがある内容です。
⚠注意	傷害を負うことや財産への損害が発生するおそれがある内容です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

（禁止の図記号）	してはいけない内容です。
（指示の図記号）	実行しなくてはならない内容です。
（注意の図記号）	気をつけていただく内容です。

⚠警告

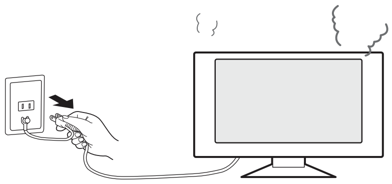
異常・故障について

異常・故障時は使用を中止してください。

プラグを抜く

◆ **異常があったときは電源プラグを抜いてください**

◎煙が出たり、異常な臭いや音がする
◎映像や音声が出ないことがある
◎内部に水などの液体や異物が入った
◎本機に変形や破損した部分がある
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。



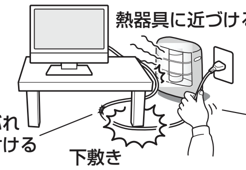
●すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店に修理を依頼してください。
●お客さまによる修理は危険ですから、おやめください。
●電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置の電源コンセントをご利用ください。

電源コード・電源プラグについて

◆ **破損するようなことはしないでください**

◎傷付ける　◎ねじる
◎加工する　◎引っ張る
◎熱器具に近づける　◎重いものを載せる
◎無理に曲げる　◎束ねる

火災・感電・ショートなどの原因になります。
●修理は販売店に依頼してください。

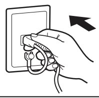


◆ **傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントは使用しないでください**

火災・感電・ショートなどの原因になります。
●修理は販売店に依頼してください。

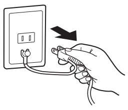
◆ **電源プラグは根元まで確実に差し込んでください**

差し込みが不完全だと火災・感電の原因になります。



◆ **電源プラグを持って抜いてください**

コードを引っ張ると破損し、火災・感電・ショートの原因になります。



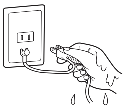
◆ **電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください**

ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。

濡れ手禁止

◆ **濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください**

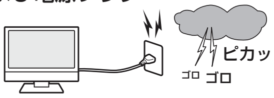
感電の原因になります。



接触禁止

◆ **雷が鳴り出したら、本機および電源プラグには触れないでください**

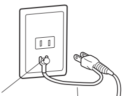
感電の原因になります。



アース線を接続する

◆ **アース線を接続してください**
◆ **漏電遮断器の設置の有無を確認してください**

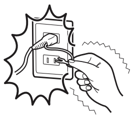
故障のときに感電の原因になります。



●電源プラグを接続する前にアース線を電源コンセントのアース端子へ接続してください。
●アース線を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてからおこなってください。
●アース端子付き電源コンセントや漏電遮断器がない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

◆ **アース線を電源コンセントに挿入・接触させないでください**

感電・火災の原因になります。



プラグを抜く

◆ **長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜いてください**

電源プラグにほこりがたまり、感電・火災の原因になります。

警告

接続ケーブルについて

◆ **接続ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください**

火災・感電の原因になります。

◆ **接続ケーブルを壁面に挟んだり、足をひっかけたりしないように処理してください**

火災・感電・けがの原因になります。

水濡れについて

水濡れ禁止

◆ **上に花びんやコップなどを置かないでください**

故障・火災・感電などの原因になります。

風呂・シャワー室などでの使用禁止

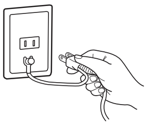
◆ **風呂場や水のかかる所に置かないでください**

故障・火災・感電などの原因になります。

電源について

◆ **電源はAC100-120VまたはAC220-240Vを使ってください**

火災・感電の原因になります。



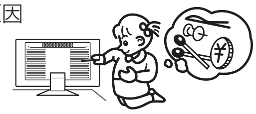
●AC100V電源では付属の電源コードを使用してください。
●AC100V以外の電源では、使用電圧に適合する電源コードをご準備ください。

異物について

◆ **内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を入れないでください**

火災・感電・故障の原因になります。

●特にお子さまにご注意ください。



液晶について

◆ **液晶パネルが破損して液晶が漏れ出た場合は、吸い込んだり、目や口に入れたりしないでください**

中毒を起こす原因になることがあります。

●万一、目や口に入ってしまった場合は、水でゆすいだ後、すぐに医師の診察を受けてください。
●手や衣類に付着した場合は、アルコール等で拭き取り、水洗いをしてください。

電源について

◆ **電源コンセントや電源コードの定格を超えて使わないでください**

◆ **たこ足配線をしないでください**

電源コンセントの電流容量を超えると、火災の原因になります。

誤飲防止について

◆ **小さい付属品は、乳幼児の手の届く所に置かないでください**

誤って飲み込むおそれがあります。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師の診察を受けてください。

設置について

◆ **不安定な場所に置かないでください**

倒れたり、落ちたりしてけがや故障による火災の原因になります。

分解禁止について

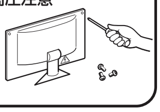
分解禁止

◆ **裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、本機を改造しないでください**

内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因になります。

高圧注意

●内部の点検・調整・修理は修理相談窓口にご依頼ください。

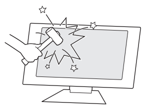


⚠注意

本機の取り扱いについて

◆ **強い力や衝撃を加えないでください**

LCDパネルのガラスが割れて、けがの原因になることがあります。

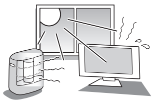


◆ **上にものを置かないでください**

落下して、けがの原因になることがあります。

◆ **直射日光や熱器具のそばに置かないでください**

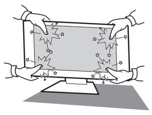
故障の原因になることがあります。



◆ **液晶パネル面を強く押さないでください**

・傷が付いたり、破損してけがの原因になることがあります。

・画質劣化や故障の原因になることがあります。



手を挟まれないように注意

◆ **本機のスタンド取り付けおよび画面位置や角度の調節時に手を挟まないでください**

◆ **本機のスタンドは本機以外では使用しないでください**

けがの原因になります。

◆ **ポリ袋で遊ばないでください**

本体や付属品の包装用ポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になることがあります。

●お子さまにはご注意ください。

◆ **乗らないでください**

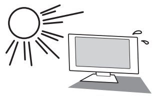
◆ **ぶらさがらないでください**

倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります。

●お子さまにはご注意ください。

◆ **屋外で使用しないでください**

故障の原因になることがあります。

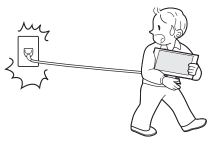


◆ **車に載せるなどの移動用途では使用しないでください**

故障の原因になることがあります。

◆ **電源コードや接続ケーブルをつけたまま移動しないでください**

本機や電源コードおよび接続ケーブルが破損する原因になります。



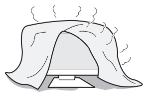
設置について

◆ **通風孔をふさがないでください**

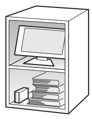
◆ **風通しの悪い狭い所で使用しないでください**

◆ **上向きや横倒し、逆さまで使用しないでください**

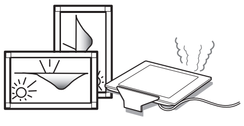
内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。



通風孔をふさがない



狭い所で使わない



上向きや横倒し、逆さまで使わない

◆ **本機の上面、左右面は壁などから10cm以上の間隔をおいて設置してください**

内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。

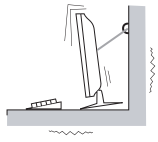
◆ **湿気やほこりの多い所、油煙や湯気があたるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください**

ショートして故障したり、画面が汚れたりする原因になることがあります。

◆ **転倒・落下防止部品を使用して固定してください**

転倒・落下して、けがの原因になります。

設置台を補強する



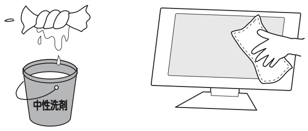
丈夫な紐などで製品を壁とつなぐ

⚠注意

お手入れのしかた

プラグを抜く

◆ **お手入れの前に、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください**



■ 液晶パネルのお手入れ

表面は傷付きやすいので硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
ほこりの付いた布・化学ぞうきんで表面をこすると液晶パネルの表面がはがれることがあります。

●表面は、脱脂綿か柔らかい布で軽く拭き取ってください。
●油など拭き取りにくい汚れのときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞り、拭き取ったあと柔らかい布で仕上げてください。研磨剤が入った洗剤は、表面を傷付けるので使用しないでください。
●水滴などがかかった場合は、すぐに拭き取ってください。そのままにすると液晶パネルの変質や変色の原因になります。
●表面にほこりが付いたときは、市販の柔らかいブラシなどでおとしてください。
●帯電防止剤は、液晶パネルの変質や変色の原因になるものがあります。ご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

■ キャビネットのお手入れ

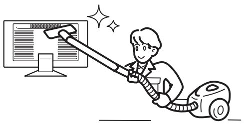
キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやクリーナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげる原因になります。

●柔らかい布で軽く拭き取ってください。
●汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞り拭いてください。
●水滴などが液晶パネルの表面を伝ってディスプレイの内部に侵入すると故障の原因になります。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

使用禁止

◆ **通風孔に付着したゴミはこまめに取り除いてください**

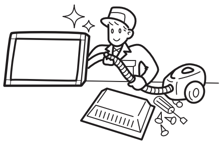
ほこりが通風孔をふさいで内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。



◆ **1年に一度は内部掃除をしてください**

内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。

●内部の掃除は販売店にご依頼ください。



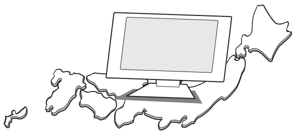
ご使用に関して

◆ **海外で使用しないでください**

国内と海外では電源電圧が異なり、故障の原因になることがあります。

●本機は日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、この製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

国内専用
For use in Japan only



◆ **目が疲れないように使用してください**

目が疲れる使い方を続けると、視力低下などの健康障害に至ることがあります。

●画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～70cmはなれたぐらいが見やすくて目の疲れが少なくなります。
●明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。
●連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

◆ **長時間同じ画面を表示しないでください**

長時間同じ画面を表示していると、表示が焼き付くこと（残像）があります。

●画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。
●「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えたり、使用していないときは省電力モードにするか、電源をオフすることを推奨します。

使用上のお願い

液晶ディスプレイの上手な使い方

電波妨害について

本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」などの機器に本機を近づけると互いに妨害を受けることがあります。その場合は、機器を影響のない所まで本機から離してください。

搬送について

- 引っ越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱と緩衝材および包装用のシートや袋をご用意ください。
- 本機は立てた状態で運搬してください。横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、点欠陥が増加する場合があります。

保管について

- 長期保管される場合は、電気的な性能を維持するために、定期的（6ヶ月に1回程度）に通電してください。
- 輸送・保管時は、水・ゴミ・ほこりや衝撃から保護するために、ご購入時の包装材（箱・袋・緩衝材）を使用されることを推奨します。

廃棄について

- 本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。→P44

液晶パネルについて

- 液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合があります。
  これは故障ではありません。
  本製品の有効ドット数の割合は99.9995%以上です。

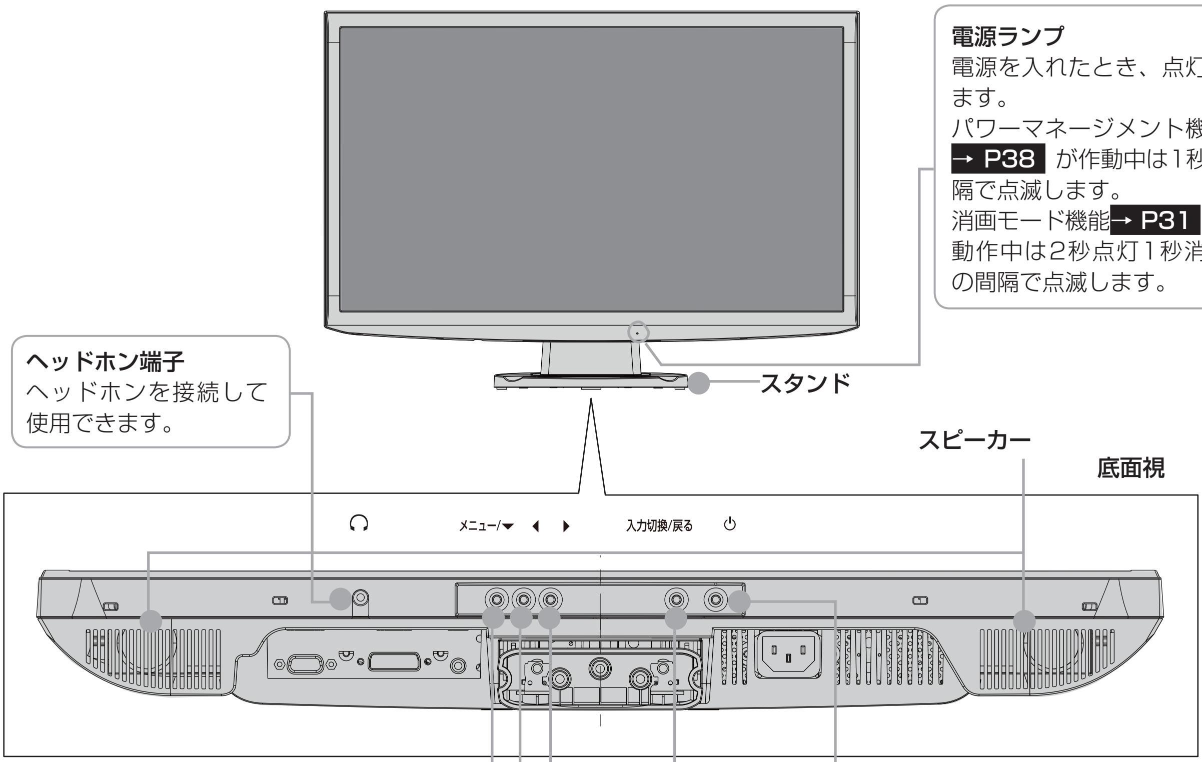
  お知らせ
  有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、当社で保証する表示可能なドットの割合」を示しています。
  「画素」および「ドット」という言葉はISO13406-2にしたがい、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル(pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル(sub pixel)」となります。
  つまり、「画素」は実態のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭き取ってください。
  素手で触らないでください。
- 液晶パネルに水滴などがかかった場合は、すぐに拭き取ってください。
  そのまま放置すると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 液晶パネルを傷付けないでください。
  硬いもので液晶パネルの表面を押したり、ひっかいたりしないでください。

■ お客様または第三者が本機を使用中または誤使用により生じた故障やその他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

各部のはたらき

本体正面



電源ランプ
電源を入れたとき、点灯します。
パワーマネージメント機能 → P38 が作動中は1秒間隔で点滅します。
消画モード機能 → P31 が動作中は2秒点灯1秒消灯の間隔で点滅します。

ヘッドホン端子
ヘッドホンを接続して使用できます。

メニュー／▼ボタン
OSD画面が表示されていないとき
OSD画面を表示します。
OSD画面が表示されているとき
縦方向の副項目メニューを選択します。

◀ボタン
OSD画面が表示されていないとき（ホットキー機能）
設定したホットキー機能が動作します。
工場出荷時設定：DV MODE
OSD画面が表示されているとき
左方向への主項目メニューの選択および設定項目の選択/調節をおこないます。

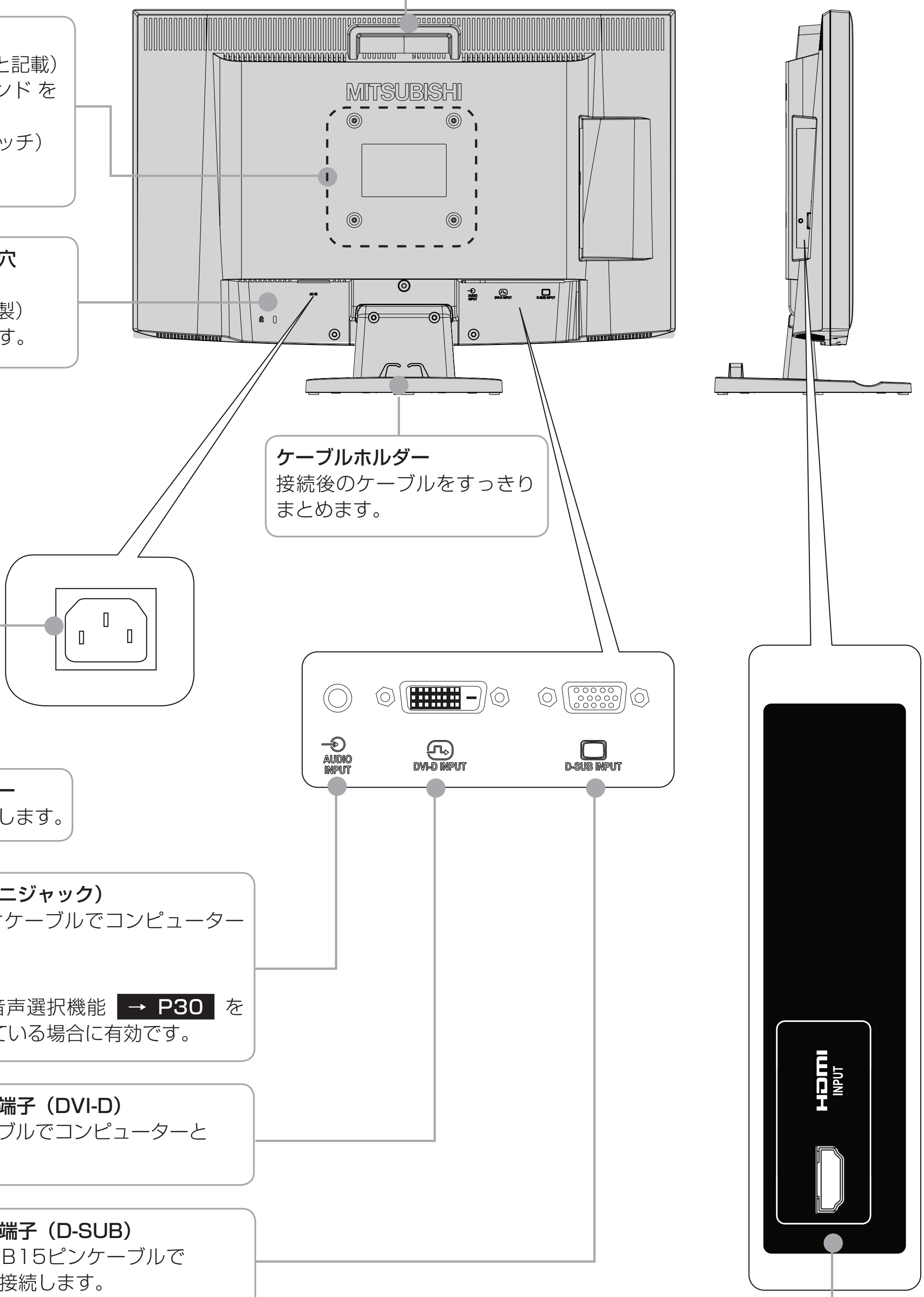
▶ボタン
OSD画面が表示されていないとき（ホットキー機能）
設定したホットキー機能が動作します。
工場出荷時設定：音量
OSD画面が表示されているとき
右方向への主項目メニューの選択および設定項目の選択/調節をおこないます。

入力切換／戻るボタン
OSD画面が表示されていないとき
▶ D-SUB → DVI-D → HDMI →
の順で入力切り換えをおこないます。
OSD画面が表示されているとき
選択しているOSD項目メニューから抜け出る時に押します。
主項目メニューが選択されている状態の場合は、OSD画面が消えます。

電源スイッチ
電源を入／切します。
お願い
電源を短時間のうちに頻繁に入／切しないでください。
故障の原因になることがあります。

お知らせ
- 各ボタンによる詳しいOSD操作については「OSDの基本操作」→ P25 をご覧ください。
- ◀ボタンと▶ボタンにはDV MODE、音量、消音、明るさ、白黒表示、消画モード、オフタイマーの中から、お好みの機能をホットキー（ボタンでの直接操作）として割り付けることができます。→ P32

本体背面



把手
持ち運びに便利です。

VESA規格準拠穴
（以下、VESA穴と記載）
市販のアームスタンド を取り付けられます。
（M4-100mmピッチ）
→ P47

盗難防止用ロック穴
盗難防止用のキー
（Kensington社製）
を取り付けられます。

ケーブルホルダー
接続後のケーブルをすっきりまとめます。

電源入力コネクター
電源コードを接続します。

音声入力端子（ミニジャック）
付属のオーディオケーブルでコンピューターと接続します。

お知らせ
HDMI入力時は音声選択機能 → P30 を「PC」に設定している場合に有効です。

デジタル信号入力端子（DVI-D）
付属のDVI-Dケーブルでコンピューターと接続します。

アナログ信号入力端子（D-SUB）
付属のミニD-SUB15ピンケーブルでコンピューターと接続します。

HDMI入力端子
市販のHDMIケーブルでAV機器またはコンピューターと接続します。

使用の準備

使用するための流れ

[準備1] ベーススタンドを取り付ける →P13

↓

[準備2] ディスプレイとコンピューターを接続する →P14
1台のコンピューターを接続（デジタル接続／アナログ接続）
2台のコンピューターを接続（デジタル1系統／アナログ1系統同時接続）
2台または3台のコンピューターを接続（デジタル2系統／アナログ1系統同時接続）
コンピューターの音声出力端子と接続

↓ 必要に応じて

[準備3] ディスプレイとAV機器を接続する →P17

↓

[準備4] 電源コードを本機に接続する →P18

↓ 必要に応じて

[準備5] ケーブルをまとめる →P18

↓

[準備6] 電源プラグのアース線を接続する →P18

↓

[準備7] 電源プラグをAC100V電源コンセントに接続する →P18

↓

[準備8] 設置する →P19

↓ 必要に応じて

[準備9] 画面の角度を調節する →P19

↓

[準備10] ヘッドホンを接続する →P20

↓

[準備11] 画面調節 →P21

↓ 必要に応じて

[準備12] Windows®セットアップ情報 →P22

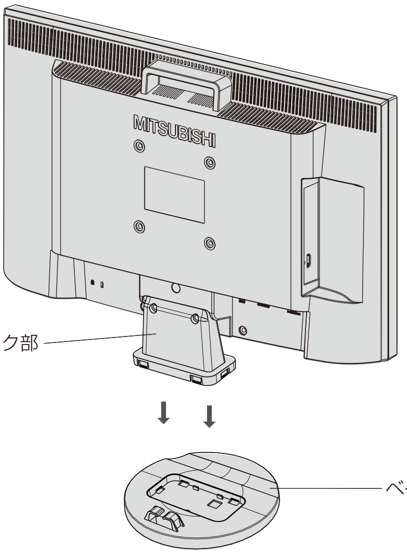
↓

[準備13] 省エネ設定をする →P23

これでコンピューターとディスプレイの準備は終わりです。

[準備1] ベーススタンドを取り付ける

図のように水平な机の上に、付属のベーススタンドを置いてください。
本体のネック部とベーススタンドの凹凸部を重ね合わせて、「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。



⚠注意

- ベーススタンドが確実に接合されていないと、本体が斜めになったり外れたりする恐れがあります。
  取り付けた際に、ベーススタンドと本体のネック部の四隅に段差がなく均一な面になっていることを確認してください。
- ベーススタンドを取り付ける際に、指を挟んで怪我をしないように手袋をして作業されることを推奨します。

語句説明

- スタンドとは、付属のベーススタンドと本体のネック部を組立てた状態を示します。

[準備2] ディスプレイとコンピューターを接続する

本機にコンピューターを信号ケーブルで接続してください。

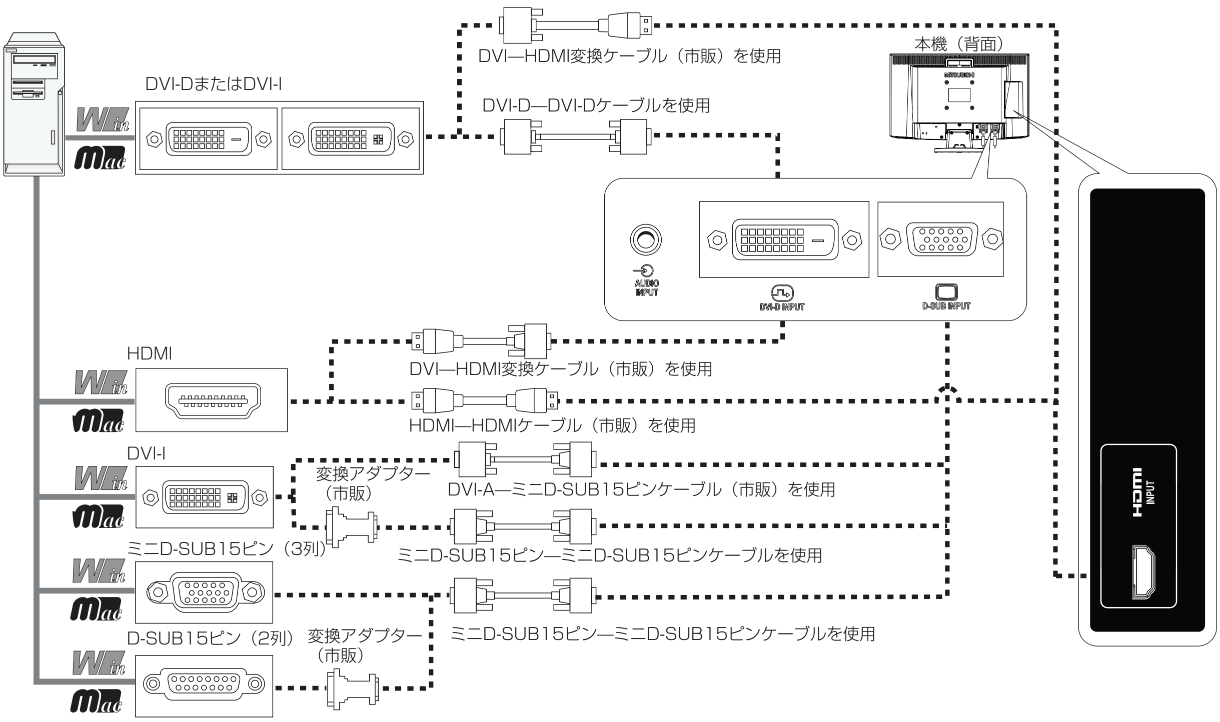
お 願 い

- 信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。

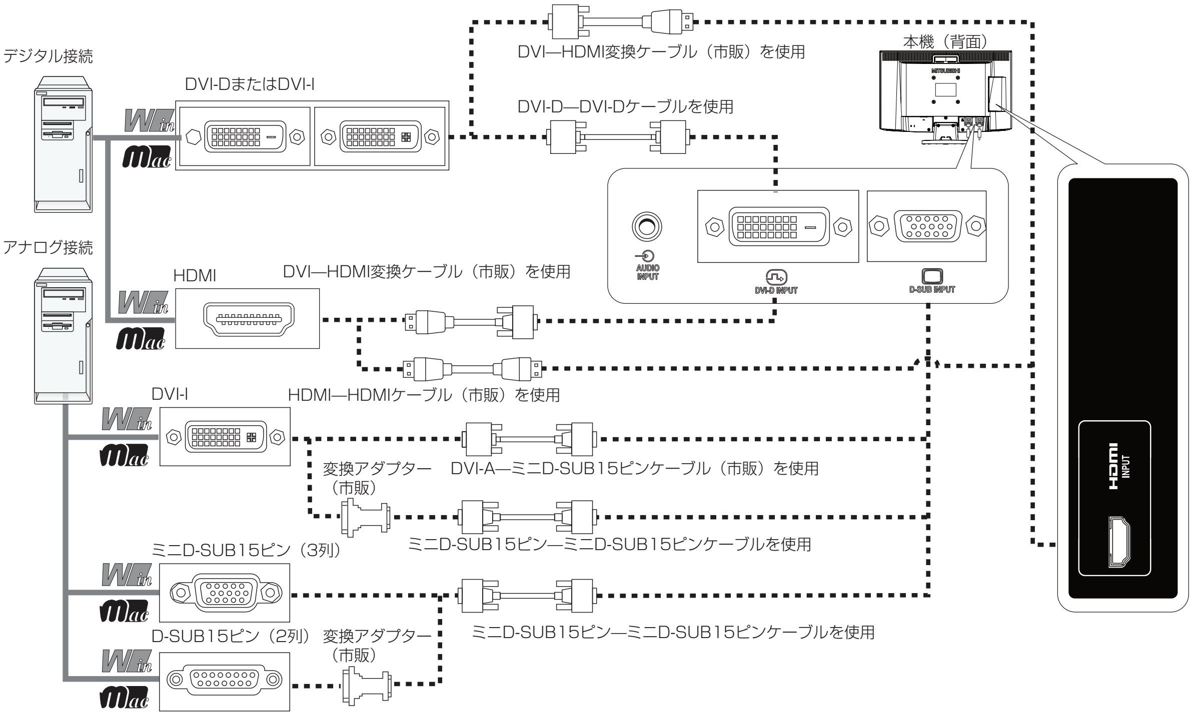
お知らせ

- 画面を下方に傾けた方がケーブル類の接続が簡単におこなえます。
  信号ケーブルおよび変換アダプターは、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。

1台のコンピューターを接続（デジタル接続／アナログ接続）



2台のコンピューターを接続（デジタル1系統／アナログ1系統同時接続）

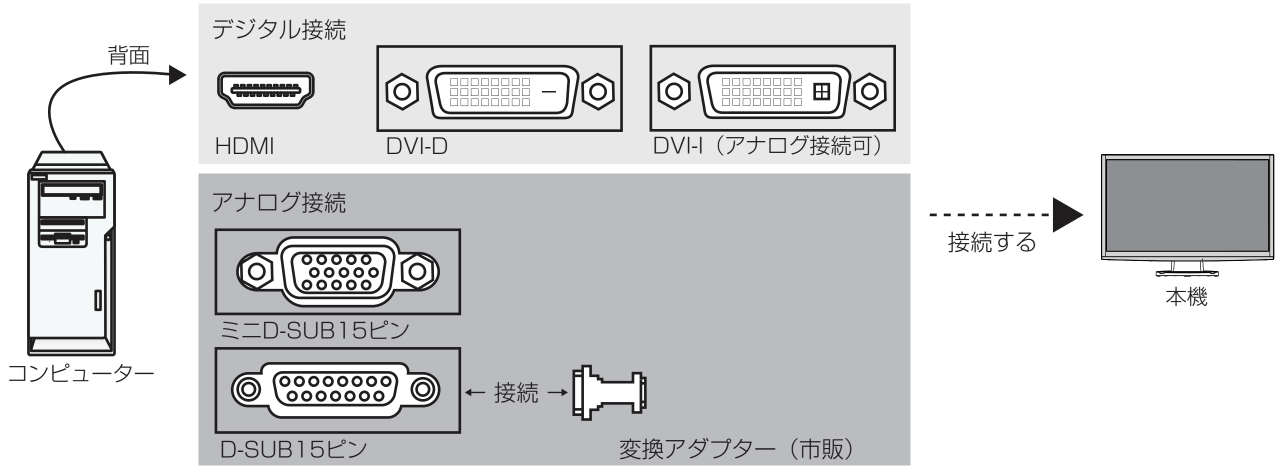


2台または3台のコンピューターを接続（デジタル2系統／アナログ1系統同時接続）

前ページの接続図において、2台のコンピューターを同時にデジタル接続することも可能です。その場合、それぞれのコンピューターからのデジタル接続の信号ケーブルを本機のHDMI端子とDVI-D端子にそれぞれ接続してください。
更にもう1台のコンピューターをアナログ接続することにより3台のコンピューターを同時に接続することが可能です。

接続方法について

本機の信号入力端子は、アナログ信号（ミニD-SUB15ピン）とデジタル信号（DVI-D、HDMI）に対応しています。
また、複数のコンピューターを同時に本機に接続し、表示する入力を切り換えて使うことができます。
ご使用のコンピューターの出力端子の形状をお確かめになり、本機の信号入力端子に接続してください。
それぞれの接続に対応したケーブルをご使用ください。



接続端子と信号ケーブル対応表

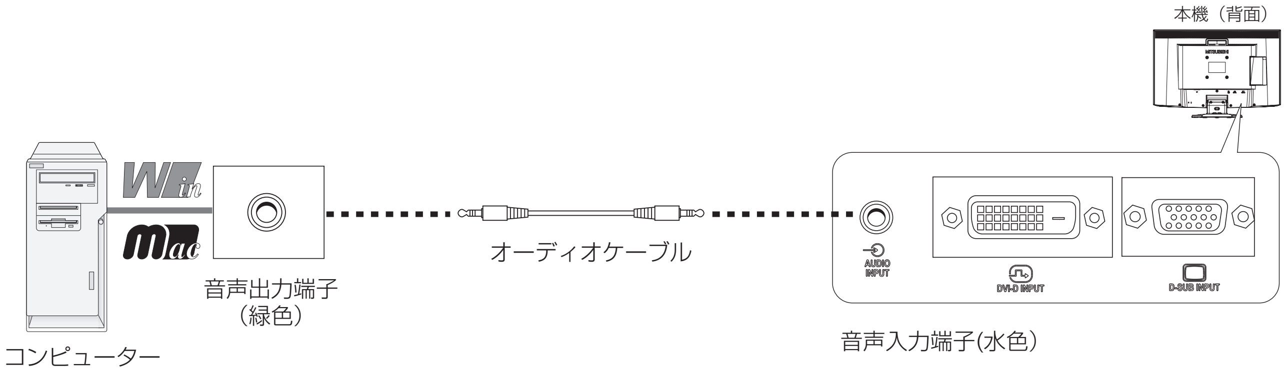
ディスプレイ側 / コンピューター側	ミニD-SUB15ピン（アナログ接続）	DVI-D（デジタル接続）	HDMI（デジタル接続）
DVI-I（アナログ接続／デジタル接続）	DVI-A−ミニD-SUB15ピンケーブル（市販）で接続（アナログ接続）または、ミニD-SUB15ピン−ミニD-SUB15ピンケーブルで接続（市販の変換アダプターが必要）	DVI-D−DVI-Dケーブルで接続	DVI-D−HDMI変換ケーブル（市販）で接続
DVI-D（デジタル接続）	接続できません	DVI-D−DVI-Dケーブルで接続	DVI-D−HDMI変換ケーブル（市販）で接続
HDMI（デジタル接続）	接続できません	DVI-D−HDMI変換ケーブル（市販）で接続	HDMI−HDMIケーブル（市販）で接続
ミニD-SUB15ピン（アナログ接続）（3列）	ミニD-SUB15ピン−ミニD-SUB15ピンケーブルで接続	接続できません	接続できません
D-SUB15ピン（アナログ接続）（2列）	ミニD-SUB15ピン−ミニD-SUB15ピンケーブルで接続（市販の変換アダプターが必要）	接続できません	接続できません

DVI-I ：デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子。接続するケーブルあるいは変換アダプターによって入力の使い分けが可能
DVI-D ：デジタル入力のみに対応しているDVI端子
DVI-A ：アナログ入力のみに対応しているDVI端子

※ 本液晶ディスプレイにDVI-Aでは接続できません。
※ 1080p映像信号を入力する場合は、一般のHDMIケーブルでは正常に動作しない場合がありますので、High Speed HDMIケーブルをご使用ください。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

コンピューターの音声出力端子と接続



お知らせ

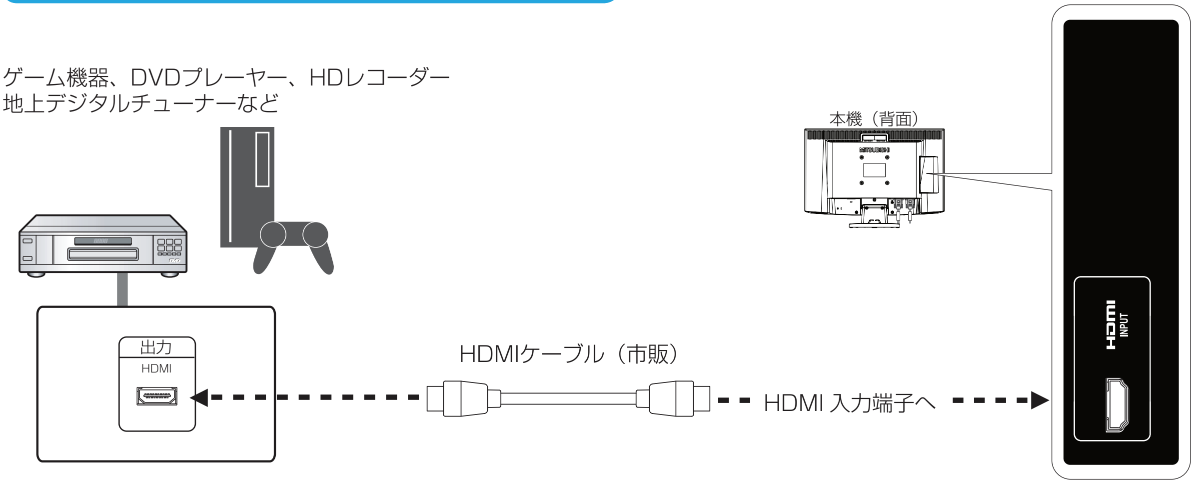
- コンピューター側の接続方法については、コンピューターの取扱説明書もあわせて参照ください。
- オーディオケーブルは付属品またはステレオミニプラグ付きの抵抗無しのものを使用ください。
  抵抗有りのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音声が出ない場合があります。

[準備3] ディスプレイとAV機器を接続する [必要に応じて]

HDD/DVDや各種ゲーム機器などのAV機器と市販のケーブルで接続してください。

本機は、AV機器などと接続して使用することができます。
詳しくは、AV機器などの取扱説明書を参照ください。

HDMI出力に対応したAV機器との接続



注）HDMI 入力の場合、オーディオケーブルの接続は不要です。（HDMI 信号に音声信号が含まれています。）

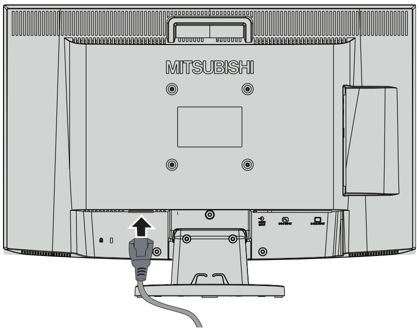
お知らせ

- HDMI出力に対応したAV機器と接続される場合は、HDMI入力のシンク設定を「2」にすることを推奨します。→ P33
- 一部のAV機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。
  数秒（5〜30秒）お待ちください。数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。
  ・本機の電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。
  ・OSDの「入力自動切換」機能を「切」にすると表示されやすくなる場合があります。
  ・電源コードを含むすべてのケーブルを抜き、接続し直してください。
  ・AV機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。
- すべてのHDMI機器への接続を保証するものではありません。
- 1080p映像信号を入力する場合は、一般のHDMIケーブルでは正常に動作しない場合がありますので、High Speed HDMIケーブルをご使用ください。

[準備4] 電源コードを本機に接続する

電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクターに接続する

奥までしっかりと差し込んでください。

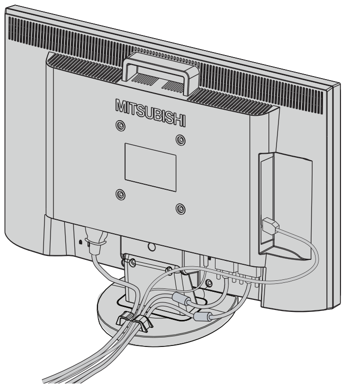


お 願 い

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。（1.0 A 以上必要です。）
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに差し込んでください。

[準備5] ケーブルをまとめる [必要に応じて]

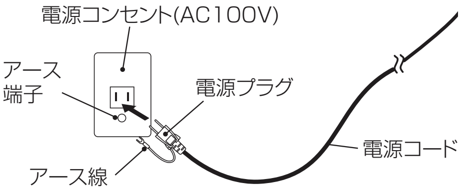
本機背面に接続した電源コード、信号ケーブル、オーディオケーブルを、スタンドのケーブルホルダーを使ってまとめる



お 願 い

- 画面を下方に傾けた状態でケーブル類はケーブルホルダーでまとめてください。
設置後、画面を上向きまたは下向きに傾けたときに必要なケーブルの長さが確保されます。
- 本機の角度を調節し、ケーブル類に十分な余裕があるかどうかを確認してください。
- ケーブルホルダー部へは、 細いケーブルから順番に入れて、電源コードを最後に挿入するとホルダーから外れにくくなります。

[準備6] 電源プラグのアース線を接続する
[準備7] 電源プラグをAC100 V電源コンセントに接続する



お 願 い

- 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。
This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

⚠警告

- **表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。**
- **本機には一般のご家庭のコンセント（AC100 V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。**
AC100 V以外（最大AC240 V）でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
- **電源プラグのアース線は必ず電源コンセントなどのアース端子へ接続してください。**
なお、アース線の接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてからおこなってください。
また、電源プラグのアース線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因になります。
- **本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。**
- **建築物への漏電遮断器の設置は、法律で義務付けられています。**
設置されていない場所で使用される場合は、お買い上げの販売店に設置工事（有料）をご相談ください。

アース端子付きコンセントが無い場合

- **ガス管、水道管、避雷針、電話線のアース線には接続しないでください。**
感電・爆発・引火の原因になります。
- **お買い上げの販売店にアース工事（D種設置工事、有料）をご相談ください。**
アース工事は「電気工事士」資格が必要です。

[準備8]　設置する

ディスプレイの画面が見やすい所に設置してください。

⚠注意

設置時は、次のことをお守りください。

詳しくは「安全のために必ずお守りください」をご覧ください。→ P6、P7

- 不安定な場所に置かないでください。
- 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気があたるような所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。
- 通風口をふさがないようにしてください。
- 本機の上面、左右面は壁などから10cm以上の間隔を置いて設置してください。
- 風通しの悪い狭い所で使用しないでください。
- 上向きや横倒し、逆さまで使用しないでください。
- 転倒・落下防止の処置を施してください。

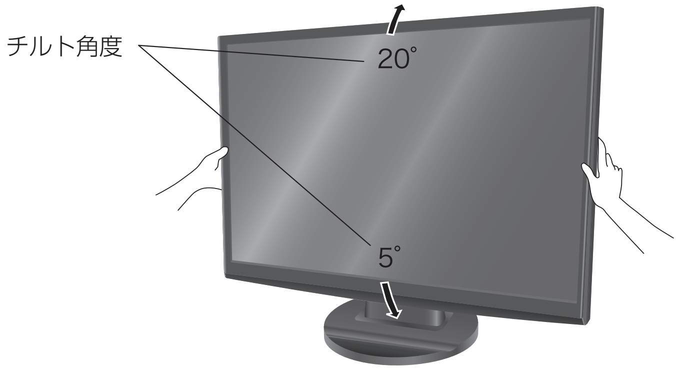
[準備9]　画面の角度を調節する　[必要に応じて]

角度を調節する

お好みに合わせて本機の角度を調節してください。
右図のように両手で動かして、見やすい角度に調節します。

⚠注意

角度調節時に、手を挟まないように気を付けてください。
けがの原因になることがあります。



液晶画面を押さないようにしてください。

[準備10] ヘッドホンを接続する [必要に応じて]

本機のヘッドホン端子にヘッドホンを接続してご使用できます。

⚠注意

- **ヘッドホンを耳にあてたまま接続しないでください。音量によっては耳を傷める原因になります。**
- **ヘッドホンをご使用の際は、音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。**

お知らせ

- 本機に接続できるのは、ステレオミニプラグ付きのヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグ（市販）をご使用ください。
- ヘッドホンを接続すると、スピーカーからの音声は消えます。
- 画面表示開始時（電源入時、パワーマネージメントからの復帰時など）にノイズが発生することがあります。

[準備11] 画面調節

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

2 画面の調節をおこなう

■ **デジタル接続の場合**
自動判別によって画面情報を設定しますので、画面の調節は不要です。

■ **アナログ接続の場合**
「オートセットアップをする（D-SUB入力のとき）」の手順にしたがって画面を調節してください。
オートセットアップをおこなってもうまく表示されない場合は「調整」メニュー（OSD機能）→ P29 をご覧ください。

オートセットアップをする（D-SUB入力のとき）

本機をコンピューターと接続したときは、最初にオートセットアップをおこないます。
その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。→ P27,P29

お知らせ

- オートセットアップは適切な画面を表示するよう、画面の「コントラスト」「水平位置」「垂直位置」「水平サイズ」「位相」を自動で調節します。
- OSD画面を表示する方法など、操作のしかたの詳細については、「OSDの基本操作」→ P25 をご覧ください。

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

2 画面全体にワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する

3 オートセットアップをおこなう

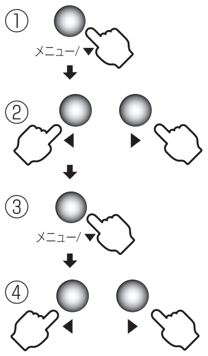
① 「メニュー/▼」ボタンを押してOSD画面を呼び出します。

② 「◀」「▶」ボタンで「調整」にカーソルを移動させます。

③ 「メニュー/▼」ボタンで「オートセットアップ」にカーソルを移動させます。

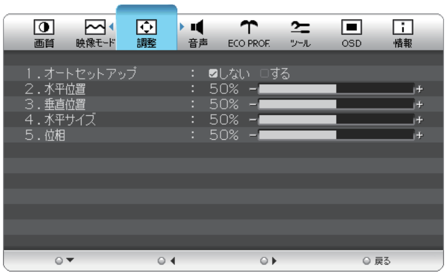
④ 「◀」「▶」ボタンで「する」を選択します。

⑤ 「コントラスト」「水平位置」「垂直位置」「水平サイズ」「位相」の自動調節が実行されます。
「オートセットアップ実行中」の表示が消えたら調節は完了です。



お知らせ

- オートセットアップ中は、「オートセットアップ実行中」の OSD 画面が表示されます。



OSD画面-②

OSD画面-③

OSD画面-⑤

お 願 い

- DOS プロンプトのように文字のみの場合や画面いっぱいに画像が表示されていない場合は、オートセットアップがうまく機能しない場合があります。
- 白い部分が極端に少ない画像の場合も、オートセットアップがうまく機能しない場合があります。
- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、オートセットアップがうまく機能しない場合があります。

以上の場合は　手動調節 → P27、P29でお好みの画面に調節してください。

[準備12] Windows®セットアップ情報 [必要に応じて]

Windows® 7、Windows® 8用の「画面の設定」でご利用いただくためのファイル情報は、下記の当社ウェブサイトからダウンロードしてください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/download

[準備13] 省エネ設定をする [必要に応じて]

ECO設定の変更

1
① 「メニュー/▼」ボタンを押して、OSD画面を表示します。
② 「◀」「▶」ボタンを押して、主項目メニューの「ECO PROF.」を選択します。
③ 「メニュー/▼」ボタンを押して、副項目メニューの「ECO設定」を選択します。
④ 「◀」「▶」ボタンを押して、「切」「小」「中」「大」→ P31 の中から、お好みの設定をお選びください。

お知らせ

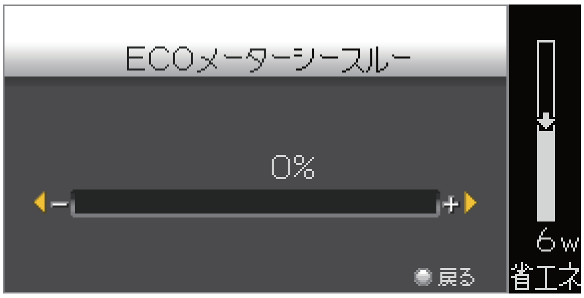
● OSD の操作方法は、「OSD の基本操作」→ P25 を参照ください。

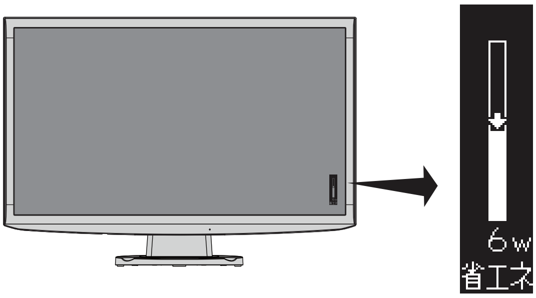
ECOメーターの表示

2
常に省エネ状態を確認できる「ECOメーター」を表示したい場合、「ECO PROF. 」メニュー画面で
① 「メニュー/▼」ボタンを押して、「ECOメーター表示」を選択します。
② 「◀」「▶」ボタンを押して、「する」をお選びください。
③ 「シースルー調節」が有効になりますので、「メニュー/▼」ボタンを押して選択し、「◀」「▶」ボタンを押して「する」をお選びください。
④ ECOメーターシースルー調節OSD画面が表示されますので、「◀」「▶」ボタンでお好みの透過率に設定してください。
この「シースルー調節」メニューは、設定した後に自動的に「しない」に戻ります。

ECOメーターは現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示します。
表示値：消費電力へ影響する「明るさ」「CRO」「ECO設定」により値が変ります。

⑤ 「入力切換／戻る」ボタンを3回押し、OSD画面を消した後に、画面の右下にECOメーターが設定した透過率で表示されます。
「ECOメーター」を表示したくない場合は、「しない」を選択するか透過率を「0%」にすると消えます。





省エネ電力量値はゼロリセットすることができます。
「省エネ電力量リセット」を選択して、「する」に設定すると積算された「省エネ電力量」「省エネ率」「CO_2削減量」がゼロに戻ります。

お知らせ

● 上図のECOメーターは表示の（例）です。省エネ状態によってメーターのバーの高さと省エネ数値(W)は変化します。

機能

本機には画面の調節が簡単にできるOSD（On Screen Display）機能がついています。
OSD機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節や、その他の設定をおこないます。

OSD画面の構成

OSD画面は、以下に示すような構成になっています。

お知らせ

● 入力端子、入力信号、DV MODEの設定などにより、調節や設定ができない項目があります。その場合は、灰色文字になります。

主項目メニュー
選択されているグループアイコンは青く表示されます。
「◀」「▶」ボタンで調節したい項目へ移動します。

副項目メニュー
選択項目が青い背景で表示されます。
「メニュー/▼」ボタンで調節したい項目へ移動します。

調節バー
選択された項目の調節バーは黄色い背景に変わります。
「◀」「▶」ボタンで調節すると、バーが伸び縮みして調節状態の割合を感覚的にお知らせします。
両端の◀ ▶マークは、調節可能な状態であることを示します。

調節割合
調節状態の割合を数値でお知らせします。

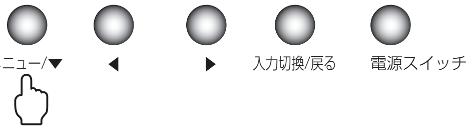
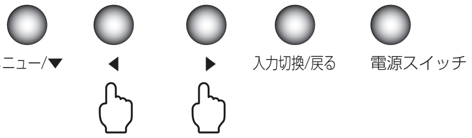
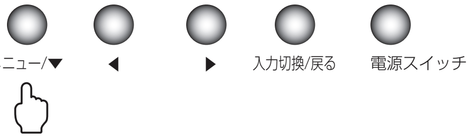
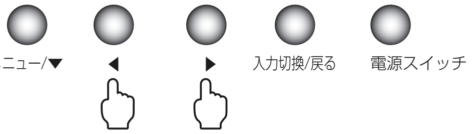
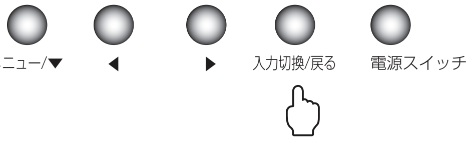
チェックアイコン
チェックが入っている項目が選択されています。

操作ボタンの配列（キーガイド）
OSD画面の操作に必要な操作ボタンを表示しています。

OSDの基本操作

本体の操作ボタンは、画面部の底面にあります。

最初に、本機の電源スイッチを押し、画面を映し出しておきます。

手順	本体ボタンの操作	OSD画面状態の例
1	「メニュー/▼」ボタンを押してOSDメニュー画面を表示します。 	
2	「◀」「▶」ボタンで調節する項目の主項目メニューを選択します。 ● 選択したグループアイコンが青色になります。 	
3	「メニュー/▼」ボタンで調節する項目の副項目メニューを選択します。 ● 選択したメニューバーが青色になります。 	
4	選択メニューの場合は「◀」「▶」ボタンでお好みのモードを選択すると「チェックマーク」が表示され背景が黄色になります。調節メニューの場合は「◀」「▶」ボタンで調節をすると調節バーが増減します。 	
5	「入力切換/戻る」ボタンを押して、主項目メニュー選択OSD画面に戻します。 	

最後に、もう1度「入力切換/戻る」ボタンを押すと、OSD画面は消えます。

お知らせ

● OSD 画面が表示された後、操作がおこなわれない場合は、「OSD 表示時間」→ P34 で設定された時間が経過すると自動的に消えます。

OSDメニュー 一覧

各グループの構成は以下のようになっています。選択項目の詳細については次ページ以降に記載しています。
入力端子、入力信号、DV MODEの設定などにより、調節や設定ができない項目があります。
その場合は、灰色文字で表示され選択できません。

映像モード

- DV MODE
- 画面サイズ
- オーバースキャン
- シャープネス
- CRO
- 黒白伸張

→ P28

調整

- オートセットアップ
- 水平位置
- 垂直位置
- 水平サイズ
- 位相

→ P29

お知らせ

●アナログ（D-SUB）入力時のみ調節できます。

音声

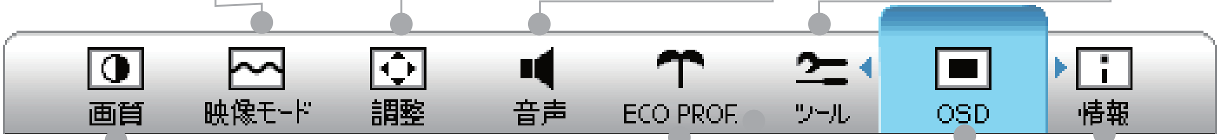
- 音量
- 消音
- 音声選択

→ P30

ツール

- 入力自動切換
- ホットキー設定
- DDC/CI
- スキップモード
- シンク設定
- 初期設定に戻す

→ P32,33



画質

- 明るさ
- コントラスト
- ブラックレベル
- 色温度
- 赤色
- 緑色
- 青色
- 色あい
- 色のこさ

→ P27

ECO PROF.

- オフタイマー（分）
- 消画モード
- 電源自動オフ（分）
- ECO設定
- ECOメーター表示
- 省エネ電力量リセット
- 省エネ電力量
- 省エネ率
- CO_2削減量

→ P31

OSD

- OSD水平位置
- OSD垂直位置
- OSD表示時間
- 操作ロック
- 言語(LANGUAGE)

→ P34

情報

- 製品情報
- 入力信号

→ P34

画質

画面の明るさ・コントラスト・ブラックレベルおよびカラー調節ができます。

■ 明るさ

画面の明るさをお好みの状態に調節してください。

■ コントラスト

画面のコントラストをお好みの状態に調節してください。

■ ブラックレベル

画面の暗い部分に注目して、画面の黒レベルをお好みの状態に調節してください。

■ 色温度

「USER」「9300」「6500」「5000」の中からお好みの色温度を選択してください。

■ 赤色

色温度で「USER」を選択したときに、赤色を調節できます。

■ 緑色

色温度で「USER」を選択したときに、緑色を調節できます。

■ 青色

色温度で「USER」を選択したときに、青色を調節できます。

■ 色あい

画面の色あいをお好みの状態に調節してください。

お知らせ

● DV MODEで「動画」が選択されている場合のみ、調節できます。

■ 色のこさ

画面の色のこさをお好みの状態に調節してください。

お知らせ

● DV MODEで「動画」が選択されている場合のみ、調節できます。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

映像モード

DV MODE・画面サイズ・オーバースキャン・シャープネス・CRO・黒白伸張の設定および調節ができます。

■DV MODE → P35

お好みの画質モードを選択できます。

【静止画】：「スタンダード」「IVテキスト」「青色低減」「sRGB」

【動画】　：「TV」「シネマ」「ルックアップ」

■ 画面サイズ → P35

自動的に画面サイズを拡大します。
「フル」「アスペクト」「自動判別」からお好みのモードを選択してください。

お知らせ

● 「自動判別」はHDMI入力でAV SDタイミングを表示しているときのみ選択できます。但し、一部のAV機器においては正しく自動判別できない場合があります。その場合は、「フル」か「アスペクト」を選択してください。

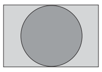
■ オーバースキャン

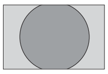
オーバースキャン機能の「する」「しない」を選択します。
AV信号を表示する場合、映像によっては画面の周囲にノイズが見えることがあります。「する」を選択することで画面の外周部をカットし、ノイズを隠すことができます。

「しない」：入力された映像をそのまま表示します。
「する」　：入力された映像の外周部をカットして拡大表示します。

お知らせ

● HDMI入力でAVタイミングを表示している場合のみ選択できます。


入力信号映像画面


「する」で調節された画面イメージ

■ シャープネス

文字や映像のキレを調節することができます。

■ CRO

CRO（Contrast Ratio Optimizer）機能の「しない」「する」を選択します。
映像の明るさに応じて、バックライトの輝度をリアルタイムに制御します。
画面全体が暗い場合でも、深みのある黒を映し出します。

お知らせ

DV MODEで「スタンダード」または【動画】が選択されている場合のみ選択できます。

■ 黒白伸張

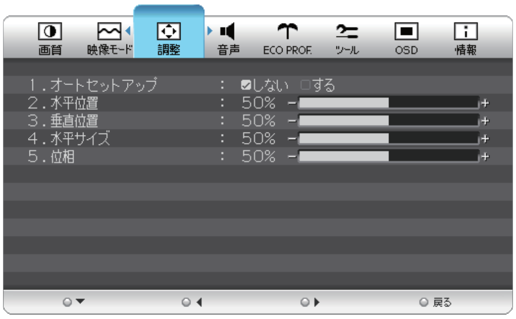
入力映像に対して、黒白伸張をおこないます。
「する」「しない」からお好みのモードを選択してください。
映像が黒浮きしているような場合は、「する」を選択してください。
映像の黒領域・白領域の階調がつぶれているような場合は「しない」を選択してください。

お知らせ

● デジタル入力（DVI-D、HDMI）の時、DV MODEで「スタンダード」または【動画】が選択されている場合のみ選択できます。

調整

オートセットアップおよび画面の位置・水平サイズ・位相の調節の設定および調節ができます。



お知らせ

- 「調整」メニューは、アナログ（D-SUB）信号入力時のみ操作できます。

■ オートセットアップ → P21

「する」の選択でオートセットアップ機能を実行します。

■ 水平位置

画面表示位置を左右方向に移動できます。

■ 垂直位置

画面表示位置を上下方向に移動できます。

■ 水平サイズ

画面の幅を調節できます。
画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズが合っていないときに調節できます。

■ 位相

画面に横方向のノイズがあったり、文字のにじみ、輪郭のぼやけがある場合に調節します。

音声

音量の調節および消音・音声選択の設定ができます。

■ 音量

音量を調節します。

■ 消音

消音機能の「しない」「する」を選択します。

お知らせ

- 音量の調節、電源「切」、消画モード「する」で消音機能は解除されます。
- 設定後、下記の状態表示アイコンが画面に2秒間表示されます。

「する」の場合： 　「しない」の場合：

■ 音声選択

「自動判別」「PC」から選択します。

「自動判別」：入力選択に応じて、自動的に音声入力を切り換えます。
●D-SUB、DVI-D入力時：音声入力端子（ミニジャック）が選択されます。
●HDMI入力時　：HDMI音声が選択されます。

「PC」：音声入力端子（ミニジャック）が選択されます。
（HDMI入力画面表示時に音声入力端子（ミニジャック）からの音声を、お聴きになりたい場合にご使用ください。）

ECO PROF.

さまざまな省エネ設定ができます。

お知らせ

- ECO Professional機能とは省エネに配慮した以下の機能の総称です。

■ オフタイマー（分）

「30分」「60分」「90分」「120分」の中から選択した時間を経過後に、自動的に電源を「切」にすることができます。

お知らせ

- 消画モード動作時も、設定した時間後に自動的に電源を「切」に します。

■ 消画モード

消画モードの「しない」「する」を設定します。
お休み時など、画面を消して音声機能のみをお使いになりたい場合に、この設定をおこなってください。
（画面が消えるため、節電効果があります。）
消画モード時、電源ランプが2秒点灯1秒消灯の間隔で点滅します。
「◀」「▶」ボタンで音量を調節できます。
「メニュー/▼」か「入力切換/戻る」ボタンのいずれかを押すと消画モードから抜けて入力信号があれば画面が表示されます。
電源「切」でも消画モードは解除されます。

■ 電源自動オフ（分）

本機のパワーマネージメント機能動作後、「1分」「30分」「60分」「90分」の中から選択した時間を経過後に、電源を自動的に「切」にすることができます。

お知らせ

- 本機能動作後は、電源が「切」にされているため再度ご使用される場合は、電源スイッチを押して本機の電源を入れ直してください。

■ ECO設定

「切」「小」「中」「大」モードの中から、お好みの省エネモードを設定します。

「切」：省エネモード設定を解除します。
「小」：画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約2W（＊）削減します。
「中」：画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約6W（＊） 削減します。
「大」：画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約8W（＊） 削減します。

お知らせ

- 省エネモードを設定している時には、画面の明るさが低減します。
- （＊）マーク説明：画面全体の平均輝度が75%以上の状態においてECO設定を「切」にした状態との比較値です。（当社独自の測定結果による）

■ ECOメーター表示

ECOメーターを表示する時は、「する」に設定します。
【シースルー調節】
ECOメーターの表示透過率を調節する場合は、「する」に設定します。
表示透過率の設定OSDが表示されますので、お好みの状態に調節してください。

お知らせ

- ECOメーターは、現在の省エネ電力値を画面右下にリアルタ イムに表示します。
- 省エネ電力値：ECO設定の動作時や画面の明るさを暗くした時に得られる電力削減値です。

■ 省エネ電力量リセット

「する」を選択すると「ECO PROF.」OSD画面の下部に表示している省エネ電力量と省エネ率表示値およびCO_2削減量がゼロにリセットされます。

お知らせ

- 省エネ電力量と省エネ率表示値は5年以上経過すると表示色が赤色になり積算が停止する場合があります。積算の上限に達していますのでリセットしてください。
- 工場出荷時に省エネ電力量と省エネ率表示値およびCO_2削減量がゼロでない場合があります。その場合は、リセットすることを推奨します。

■ 省エネ電力量（表示のみ）

省エネ効果の確認用として、累積省エネ電力量と省エネ率およびCO_2削減量をOSD画面上に表示します。
省エネ電力量：ご使用を始めて（またはリセットした時点）から現在までに得られた省エネ電力を積算した値とコンピューターで設定したパワーマネージメント機能にて得られた電力削減を積算した値の合算を「＊＊＊.＊＊kWh」で 表示します。
なお、本機の電源スイッチが切られている状態の時間は含まれません。

「省エネ率」：省エネ電力量の削減効果を「＊%」で表示します。表示される値が大きいほど、省エネ電力量の削減効果が大きいことを意味します。
「CO_2削減量」：省エネ電力量をCO_2削減量に換算した値を「＊＊kg」で表示します。

お知らせ

- CO_2削減量は、1kWh=0.4kg（「各国における発電部門のCO_2排出原単位の推計報告書-Ver.3(2006.6Revised)-」(JEMA)より）を用いて算出。

ツール

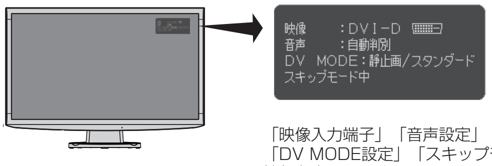
入力自動切換・ホットキー設定・DDC/CI・スキップモード・シンク設定・初期設定に戻す の設定および調節ができます

■ 入力自動切換

信号が入力されている入力端子を自動的に選択する機能です。
「しない」「する」を設定できます。
複数の入力信号がある場合に「入力切換/戻る」ボタンを押さなくても、現在表示中の入力信号が切れると自動的に信号が入力している画面に切り換わります。

お知らせ

- 選択されている入力端子は、「情報」のOSD画面で確認できます。
- 「しない」選択で、「入力切換/戻る」ボタンでの手動切り換え時は、切り換えごとに画面右上に数秒表示されるサブ情報OSD画面で選択されている入力端子を確認できます。
- HDMI入力は、本機能に対応していません。



「映像入力端子」「音声設定」「DV MODE設定」「スキップモード」情報を表示します。

■ ホットキー設定

OSD画面がでていない時、「◀」ボタンと「▶」ボタンは直接ボタン操作のホットキーとして機能します。
「◀」ボタンと「▶」ボタンに「DV MODE」「音量」「消音」「明るさ」「白黒表示」「消画モード」「オフタイマー」の機能を割り付ける機能です。
それぞれのボタンにお好みの機能を割り付けてください。
消画モード時は強制的に「音量」が割り付けられます。

お知らせ

- 工場出荷時設定は「◀」ボタン：DV MODE
  「▶」ボタン：音量

■ 白黒表示

WordやExcelなどのカラー文書を白黒印刷した時のイメージに簡易表示します。
本機能はホットキー設定で「白黒表示」の機能割り付けをおこなった場合にのみ、ご使用できます。機能を割り付けた「◀」または「▶」ボタンのホットキー操作でカラー表示画面を白黒表示画面に切り換えることができます。
白黒表示画面に切り換えると画面右上に「白黒表示中」と表示されます。白黒表示画面を解除するには、「◀」、「▶」または「入力切換/戻る」ボタンを押してください。
電源「切」でも解除されます。白黒表示実行中は、その他のOSD機能はご使用できません。

■ DDC/CI

DDC/CI通信機能の「しない」「する」を選択します。

お知らせ

- 「しない」を選択すると、外部からの制御ができなくなります。
- 工場出荷時設定は「する」です。

■ スキップモード

入力を強制的に無効にすることができます。
「する」を選択すると、「入力切換/戻る」ボタンを押しても切り換わらずスキップされます。
ご使用にならない入力を「する」に設定することにより、入力切り換えをよりスムーズにおこなうことができます。
再度、入力を有効にする場合は、「しない」に設定してください。

お知らせ

- 表示している入力をスキップ設定することはできません。
- パワーマネージメント機能 → P38 によるスリープ状態（電源ランプが点滅（1秒間隔）→ P10 ）のときに「入力切換/戻る」ボタンを2秒以上長押しすると、全入力スキップモードは解除されます。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

■ シンク設定

DVI-D入力およびHDMI入力でデジタル接続する際の制御信号の種類を設定します。
本機能はDVI-D入力およびHDMI入力時に設定できます。設定は選択している入力に対してのみ可能で、DVI-D入力およびHDMI入力個別に設定できます。（入力信号が無い場合の設定は、「お知らせ」を参照願います。）

「1」：コンピューター接続時に推奨します。但し、コンピューターによっては映像が正常に表示されない場合があります。この場合は、「2」に設定して、コンピューターを再起動してください。

「2」：AV 機器接続（HDMI入力）時に推奨します。但し、AV機器によっては映像が正常に表示されない場合があります。この場合は、「1」に設定して、AV機器を再起動してください。

お知らせ

- 工場出荷時設定はDVI-D入力、HDMI入力のどちらも「1」です。
- 入力信号が無い場合のシンク設定方法

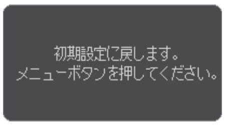
  電源スイッチ以外のいずれかのボタンを押し、画面に「NO SIGNAL」（右図）が表示されているときに「メニュー/▼」ボタンを5秒以上長押しすると選択している入力に対するシンク設定画面が表示されます。

  シンク設定の設定値「1」または「2」を「◀」「▶」ボタンで選択し、「入力切換/戻る」を押すと、画面が「NO SIGNAL」に戻ります。その後、コンピューターまたはAV機器を再起動してください。

■ 初期設定に戻す

「画質」「映像モード」「調整」「音声」「ECO PROF.」「ツール」「OSD」の各設定を工場出荷状態に戻します。

「する」を選択すると下記のOSDが画面に表示されます。
「メニュー/▼」ボタンを押すとリセットを実行します。



「初期設定に戻す」が完了すると下記のOSDが画面に表示されます。

お知らせ

- 「ECO PROF.」の省エネ電力量と省エネ率およびCO_2削減量はリセットされません。

  リセットしたい場合は、「ECO PROF.」の省エネ電力量リセットメニューでおこなってください。
- 「言語(LANGUAGE)」「消音」「シンク設定」はリセットされません。

OSD

OSD画面の表示位置や表示時間の調節および表示言語の切り換えをおこなうことができます

■ **OSD水平位置**

OSD画面の表示位置を左右方向に移動できます。

■ **OSD垂直位置**

OSD画面の表示位置を上下方向に移動できます。

■ **OSD表示時間**

OSD画面の表示時間を10～120秒の間で設定できます。

■ **操作ロック**

OSDの誤操作を防止するための操作禁止の設定／解除をします。→ P36

■ **言語(LANGUAGE)**

OSD画面の表示言語を「日本語」と「ENGLISH」から選択できます。

情報

ご使用の製品情報（形名と製造番号）および入力信号情報をお知らせします。

お知らせ

● 入力信号によっては、解像度や周波数を正しく表示できない場合があります。

OSD機能の補足説明

OSD機能の補足説明をします。

画面サイズ → P28

「フル」「アスペクト」または「自動判別」を選択できます。

画面サイズ / 入力信号	フル	アスペクト	自動判別
PCタイミング	○	○（*1）	×
AV SDタイミング（480p）	○（スクイーズ用）	○（4：3用）	○（*2）
AV HDタイミング（1080p/720p/1080i）	○	×	×

［○］：選択可　［×］：選択不可

「フル」　　：映像を画面全体に拡大します。

「アスペクト」：縦横比を変えずに画面を拡大します。（画面の左右に黒帯ができます。）

「自動判別」　：AV SD タイミングの４：３とスクイーズの映像信号を自動で判断し、アスペクト（４：３）かフル（スクイーズ）で表示します。

お知らせ

- 一部の解像度では画面全域に拡大されません。
- 入力信号によっては、縦または横方向に十分に拡大されない場合があります。
- (*1) 印：16：９タイミングは、アスペクト選択できません。
- 480i の信号が入力された場合はコンテンツによってちらつきが発生する場合がありますので、AV 機器側の解像度設定を他の信号タイミング（480p、1080i、720p、1080p）に切り換えてご使用ください。
- (*2) 印：HDMI 接続時のみ選択可能です。
- 「自動判別」の設定で、画面が正しいアスペクト比で表示されない場合は、手動で「フル」もしくは「アスペクト」を選択してください。

DV MODE → P28

適切な画質を簡単に設定できます。

最初に映像の種類に応じて【静止画】か【動画】を選択します。

その後、メニューの中からお好みの表示モードをお選びください。

また、ホットキー機能 → P32 を使うことで、【静止画】と【動画】の表示モードを直接切り換えることができます。

お知らせ

- 適切な表示モードにするため「明るさ」「色温度」「色あい」「色のこさ」「シャープネス」「CRO」などは入力端子および選択したモードごとに個別の値を持っています（一部共通）。入力端子および選択した表示モードによって値が変ったり調節 / 設定ができない副項目メニューがあります。

【静止画】

「スタンダード」：標準の設定です。

「IV テキスト 」：全体の明るさ、コントラストを抑え目が疲れにくく、通常のワープロや表計算ソフトに適した設定です。

「青色低減」　：画面から発せられる青色光の分光放射輝度のピーク値を低減する設定です。

「sRGB」　　：国際色再現規格で表示する設定です。

【動画】

「TV」　　　：TV 番組を視聴するのに適した設定です。

「シネマ」　　：暗いシーンの多い映画を見るのに適した設定です。

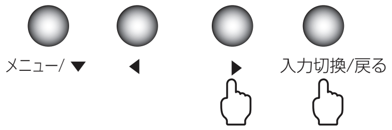
「ルックアップ」：寝転んで見上げる姿勢でも奥行き感を阻害しない設定です。

操作ロック → P34

本機には OSD 誤操作防止のための操作ロック設定機能があります。OSD 操作禁止の「設定」や「解除」ができます。

操作ロックの設定

操作ロックが選択されたときに「▶」と「入力切換 / 戻る」ボタンを同時に押すと、OSD メニュー操作はロックされ「操作ロック中」が数秒間表示されます。

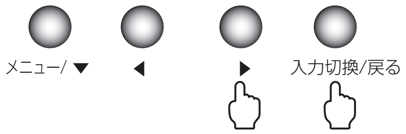


お知らせ

- 操作ロックは OSD 操作のみがロックされます。
  「電源スイッチ」、「入力切換 / 戻る」および「◀」「▶」ボタンのホットキーに割り付けた機能は動作します。

操作ロックの解除

「メニュー / ▼」ボタンを押して、「操作ロック中」OSD を表示させ、再び「▶」と「入力切換 / 戻る」ボタンを同時に押すと、操作ロックは解除されます。



工場プリセットタイミング

本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。但し、コンピューターによっては画面にちらつきやにじみが生じることがあります。
また、入力信号によってはうまく表示できないこともあります。アナログ接続の場合は、オートセットアップ → P21 をおこなってください。

対応する信号入力端子			解像度	周波数		備考
D-SUB	DVI-D	HDMI		水平	垂直	
●	●	●	640 × 480	35.0kHz	66.7Hz	Macintosh
●	●	●	832 × 624	49.7kHz	74.5Hz	Macintosh
●	●	●	720 × 400	31.5kHz	70.1Hz	
●	●	●	640 × 480	31.5kHz	60.0Hz	
●	●	●	640 × 480	37.9kHz	72.8Hz	
●	●	●	640 × 480	37.5kHz	75.0Hz	
●	●	●	800 × 600	35.2kHz	56.3Hz	
●	●	●	800 × 600	37.9kHz	60.3Hz	
●	●	●	800 × 600	48.1kHz	72.2Hz	
●	●	●	800 × 600	46.9kHz	75.0Hz	
●	●	●	1024 × 768	48.4kHz	60.0Hz	
●	●	●	1024 × 768	56.5kHz	70.1Hz	
●	●	●	1024 × 768	60.0kHz	75.0Hz	
●	●	●	1152 × 864	67.5kHz	75.0Hz	
●	●	●	1152 × 870	68.7kHz	75.0Hz	Macintosh
●	●	●	1280 × 960	74.8kHz	75.0Hz	Macintosh
●	●	●	1280 × 1024	64.0kHz	60.0Hz	
●	●	●	1280 × 1024	80.0kHz	75.0Hz	
●	●	●	1680 × 1050	65.3kHz	60.0Hz	
●	●	●	1600 × 900	60.0kHz	60.0Hz	
		●	1920 × 1080	33.7kHz	59.9Hz	1080i
●	●	●	1920 × 1080	67.5kHz	59.9Hz	1080p（推奨タイミング）
		●	1280 × 720	45.0kHz	59.9Hz	720p
		●	720 × 480	31.5kHz	59.9Hz	480p

お知らせ

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなっています。
- 上表に示す工場プリセットタイミング以外もタイミングを記憶できる機能があります（ユーザーメモリー機能）。
  記憶させたい信号を入力し、オートセットアップ → P21 するとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- 「初期設定に戻す」を実行するとすべてのユーザーメモリーに記憶された値が消去されます。
- 本機の周波数は水平周波数：31.5～82.3kHz、垂直周波数：56～75Hz対応となっていますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。その場合は、コンピューターの周波数、または解像度を変更してください。
- 本機はコンピューターからのデジタル入力において、推奨タイミングの解像度を超える信号を選択できる場合がありますが、その信号を入力した場合は、正しく表示できないことがあります。
- 複合同期信号、シンクオングリーン信号には対応していません。
- D-SUB、DVI-D入力はインターレース信号に対応していません。
- 本機は解像度1920×1080以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- デジタル接続の場合は、工場プリセットタイミング信号のみを表示できます。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

その他の機能について

ここでは、本機のOSD機能以外の機能について説明しています。

拡大・スムージングファイン機能

1920×1080より低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

お知らせ

● 入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

簡易表示機能

本機が対応する解像度よりも高い解像度の信号が入力された場合に、自動的に画面を縮小表示する機能です。

お知らせ

● 入力信号によっては、本機能が正常に動作しない場合があります。

Plug&Play機能

VESAのDDC（Display Data Channel）2B規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に適切な画面が自動的に設定されます。
詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

ノータッチオートアジャスト機能（NTAA：No Touch Auto Adjust）

（800×600以上の解像度のみ）

ユーザーメモリーに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。
入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。自動調節中は「自動調節実行中」の文字が表示されます。

NTAA実行中画面

お知らせ

● アナログ（D-SUB）信号入力時のみ機能します。

パワーマネージメント機能

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

お知らせ

● この機能は VESA DPM 対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。
パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下のとおりです。

モード	消費電力	電源ランプ
標準	31 W	点灯
スリープモード時	0.5 W以下（AC100 V時）	点滅(1秒間隔)

● 水平または垂直同期信号がOFF状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号（R, G, B）が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。

● スリープモードで画面が消えている時は、キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと復帰します。
画面が復帰しない場合は、信号ケーブルが外れているかコンピューターの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。

故障かな？と思ったら

表示されないときは…　このようなときは、チェックしてください。

症　状	状　態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。	P10
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P18
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	−
		電源コードをコンピューターの本体の電源コンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。	−
		電源自動オフを設定していませんか？再度電源スイッチを「入」にして設定を確認してください。	P31
	電源ランプが点灯している場合	「メニュー/▼」ボタンを押してOSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P25
		● 正常な状態でOSD画面が表示された場合は「画質」メニューの「明るさ」と「コントラスト」を調節してください。	P27
		● OSD画面が正常に表示され、「明るさ」と「コントラスト」を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P14 P37
		● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P45
		HDCP対応のコンピューターやAV機器を接続し画面が映らない場合は、接続機器（コンピューターやAV機器）の電源を入れ直してください。 もしくは、シンク設定の設定値を変更して、接続機器（コンピューターやAV機器）の電源を入れ直してください。	P33
	電源ランプが点滅している場合	消画モードを「する」に設定していませんか？	P31
		パワーマネージメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P38
		信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P14
		変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P14
		コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。	−
		入力選択があっていない可能性があります。 「入力切換/戻る」ボタンを押して電源ランプが点灯している間に再度「入力切換/戻る」ボタンを押して入力の切り換えをおこなってください。	P10
		本機が故障している可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P45

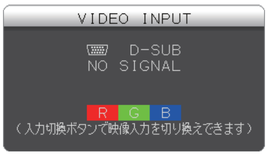
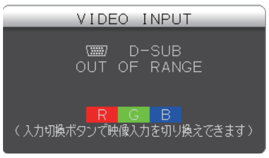
表示されないときは…

症　状	状　態	原因と対処	参照
突然、画面が表示しなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合	信号ケーブルの接続が外れていませんか？ 接続されているすべてのケーブルを抜き、接続し直してください。	P14
		オフタイマーが設定されていた可能性があります。 再度電源を入れてください。	P31
		電源自動オフを設定していませんか？再度電源スイッチを「入」にして設定を確認してください。	P31
		新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。 ※ 液晶ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。	P45
	電源「切」「入」などで画面が表示しなくなった場合	シンク設定の設定値を変更して、接続機器（コンピューターやAV機器）の電源を入れ直してください。	P33
表示状態がおかしい	画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P9
	画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	－
	画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	－
	細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	－
	線の太さなどがぼやける	1920×1080以外の解像度を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。コンピューターの出力解像度を1920×1080に設定してください。 または、OSD画面により「シャープネス」を調節すると軽減できる場合があります。 アナログ(D-SUB)接続の場合は、「オートセットアップ」を実行すると軽減できる場合があります。	P28 P21,P29
	表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P8 P51
	画面を見る角度によって色がおかしい	視野角（画面を見る角度）によっては、色あいの変化が大きくなります。本機の画面の角度を調節してください。	P19
	画面の表示状態が変わっていく	液晶パネルは、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態が影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	－
	画面を切換えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。 電源を切るか変化する画面を表示していれば、残像は徐々に薄れていきます。	P8 P51

表示されないときは…

症　状	状　態	原因と対処	参照
表示状態がおかしい	表示が横長に伸びている	1920×1080以外の解像度を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。コンピューターの出力解像度を1920×1080に設定してください。 または、OSD画面により「画面サイズ」を「アスペクト」に設定してください。	P28 P37
	表示色がおかしい	「メニュー/▼」ボタンを押してOSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P25
		● 正常な状態でOSD画面が表示された場合は「画質」メニューの「USER」を選択し、お好みで色の割合を調節するか、「ツール」の「初期設定に戻す」で工場出荷時設定に戻してください。	P27 P33
		● OSD画面が正常に表示され、色を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P14 P37
		● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。 販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P45
		ケーブルの接続不良でも、発生する場合があります。接続状態を再確認してください。	P14
	白黒表示になる	画面右上に「白黒表示中」とOSD表示されている場合は、「◀」、「▶」または「入力切換/戻る」ボタンを押して白黒表示を解除してください。	P10 P32
	画面がちらつく（分配器を使用している場合）	分配器を中継させず、コンピューターと直接接続してください。	P14
	画面がちらつく（上記以外の場合）	「メニュー/▼」ボタンを押してOSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P25
		● 正常な状態でOSD画面が表示された場合は「調整」の「位相」を選択し、調節してください。	P29
		● OSD 画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P14 P37
		● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。 販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P45
		上下にちらつく場合は、コンピューターのリフレッシュレートを60Hzに設定してください。	－
	画面が切れている（すべて表示されない）	オーバースキャンを「しない」に設定してください。	P28
	AVタイミング480iの信号を入力したときに画面が「ちらつく」	480iの信号が入力された場合はコンテンツによってはちらつきが発生する場合がありますので、AV機器側の解像度設定を他の信号タイミング　(480p、1080i、720p、1080p) に切り換えてご使用ください。	－
	画面が砂嵐のような表示になる。	シンク設定の設定値を変更して、接続機器（コンピューターやAV機器）の電源を入れ直してください。	P33

案内画面／注意画面が表示されたら…

症　状	状　態	原因と対処	参照
OSDの「注意画面」が表示される	「NO SIGNAL」が表示された ※1  	入力選択があっていない可能性があります。 「入力切換／戻る」ボタンを押して電源ランプが点灯している間に再度「入力切換／戻る」ボタンを押して入力切り換えをおこなってください。	P10
		信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。 信号ケーブルを本機およびコンピューターのコネクターに正しく接続してください。	P14
		信号ケーブルが断線している可能性があります。 信号ケーブルが断線していないか確認してください。	―
		コンピューターの電源が切れている可能性があります。 コンピューターの電源が入っているか確認してください。	―
		コンピューターのパワーマネージメント機能が作動している可能性があります。 マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P38
		HDCP対応のコンピューターやAV機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。 数秒（5～30秒）お待ちください。 数秒待っても画面が表示されない場合は、シンク設定の設定値を変更して、接続機器（コンピューターやAV機器）の電源を入れ直してください。	P33
	「OUT OF RANGE」が表示された※2  	本機が対応していない信号が入力されている可能性があります。 本機に適切な信号が入力されているか確認してください。コンピューターの解像度またはリフレッシュレートを変更してください。	P37
		本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。 コンピューターの解像度を変更してください。	P37

※１ コンピューターによっては、解像度やリフレッシュレートを変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※２ コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

その他

症　状	状　態	原因と対処	参照
表示状態がおかしい	解像度や色数が変更できない／固定されてしまう	正しく信号が入出力できないことがまれにあります。 本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。	P10
		Windows®をご使用の場合は、Windows®セットアップのインストールが必要な可能性があります。 Windows®セットアップ情報を当社ウェブサイトからダウンロードし、コンピューターにインストールしてください。	P22
		Windows®セットアップをインストールしても設定の変更が不可能な場合、またはWindows®以外のOSをご使用の場合は、グラフィックボードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。 グラフィックボードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書をご参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。	−
音が出ない	スピーカーから音が出ない	オーディオケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。 正しく接続されているか確認ください。	P16
		ヘッドホンが接続されている場合スピーカーから音は出ません。 ヘッドホンを外してください。	P20
		音量が最小になっている、または消音機能が「する」になっている可能性があります。 OSDメニューの「音声： 」で音量を調節、または消音メニューで「しない」 を選択してください。	P30
		「音声選択」で「PC」を選択している場合、音声入力端子側（ミニジャック）が選択されています。 HDMI接続時には「音声選択」で「自動判別」を選択してください。	P30
AV機器の映像が何も映らない	何も映らない	一部のAV機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。 数秒（5～30秒）お待ちください。 数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。 ● 本機の電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。 ● 一旦、電源コードを含むすべてのケーブルを抜き、接続し直してください。 ● AV機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。 ●シンク設定の設定値を変更して、接続機器（AV機器）の電源を入れ直してください。	P33

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については下記の当社ウェブサイトをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお問い合わせは下記へお願いします。

情報機器リサイクルセンター	
家庭系（個人ユーザー様）の窓口	事業系（法人ユーザー様）の窓口
フリーダイヤル 0120-345-989 www.pc-eco.jp	TEL 0467-46-5716 www.diarcs.com
受付時間　土・日・祝日を除く　午前9:00～午後5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

ディスプレイの回収・リサイクル

資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“PCリサイクル”が2003年10月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003年10月1日より受付しております。2003年10月以降購入されたディスプレイのうち、銘板に“PCリサイクル”が表示されている製品は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

個人で、ご購入いただいたお客様のPCリサイクルシール申込

"PCリサイクルマーク"の表示が無い三菱ディスプレイでも、下記のリサイクル窓口ウェブサイトより、お申し込みいただければ"PCリサイクルシール"を無償でお送りいたします。

リサイクル窓口ウェブサイト：
www.pc-eco.jp
画面の PCリサイクルマーク申込 **からお入りください。**

ご注意：
法人（事業者）のお客様で、ご購入いただいた三菱ディスプレイは、PCリサイクルマーク対象外です。シールが貼付けられていても、廃棄時は産業廃棄物としての扱いとなります。

保証とアフターサービス

- この製品には保証書を添付しています。
  保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
  内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。
  修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。
  日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
  This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

お客様相談窓口（携帯電話・PHS通話可／IP電話不可）	修理相談窓口（携帯電話・PHS通話可／IP電話不可）
フリーダイヤル 0120-71-3322	フリーダイヤル 0120-08-1460
受付時間　土・日・祝日を除く　午前9:00～12:00　午後1:00～5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

アフターサービスを依頼される場合は、次の内容をご連絡ください。

- **お名前**
- **ご住所（付近の目標など）**
- **電話番号**
- **品名：三菱ワイド液晶ディスプレイ**
- **形名：RDT235WLM/RDT235WLM(BK)**
  RDT235WLM-S(BK)
- **製造番号（本機背面のラベルに記載）**
- **故障の症状、状況など（できるだけ詳しく）**
- **使用状況**
  （PCおよびグラフィックボード（メーカー、形名）、解像度、入力信号（アナログ、デジタル）など）
- **購入年月日または使用年数**

- 無料出張サービス規定
  この製品をお買い上げから1年間は「修理相談窓口」にてディスプレイに起因する障害で修理が必要と判断された場合、無料出張サービスを適用します。その際、同梱の保証書の提示をお願いします。提示がない場合は、保証期間中でも有料となります。出張サービスは、日本国内のみ対応します。代替セット（現品とは異なる場合があります。）を無料でお貸しし、現品の持ち帰り修理になります。一部の地域で宅配業者の引き取りサービスになる場合があります。

個人情報の取り扱い

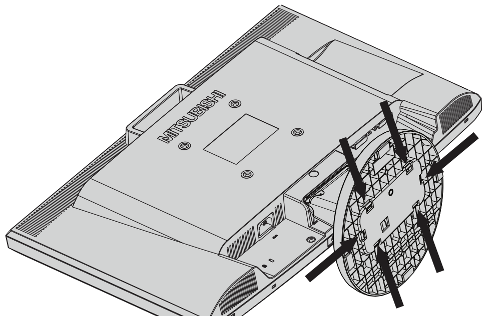
- お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
  三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
  1. お問い合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
  2. 上記利用目的のために、お問い合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
  3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
     ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
     ② 法令等の定める規定に基づく場合。
  4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

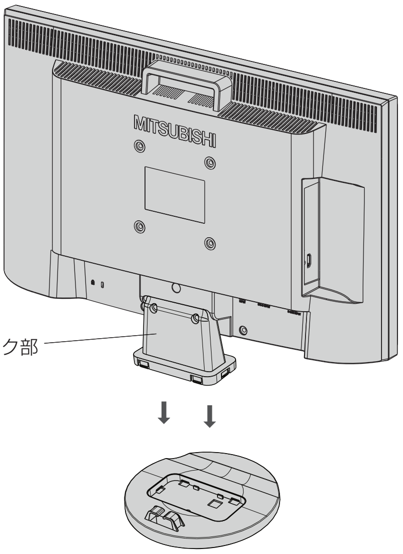
付録

再梱包するとき

再梱包の際は次の手順でベーススタンドを取り外してください。

水平な机の上に本体表示部が下になるように置いてください。
図のように矢印方向に指でロックツメを押して外してください。
ロックツメを6カ所外すと本体のネック部からベーススタンドを取り外すことができます。





⚠注意

● **表示部を下向きに置く際に表示部の下にものを置かないでください。また、突起などが無いことを確認し表示部を傷付けないように注意してください。**

お 願 い

● 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、表示部を傷付けないようにしてください。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

市販のアームを取り付けるとき

本機にはVESA 規格に準拠した（100 mmピッチ）市販のアームを取り付けることができます。

お 願 い

● アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。（本機のディスプレイ部の質量は約 4.0 kg です。）

お知らせ

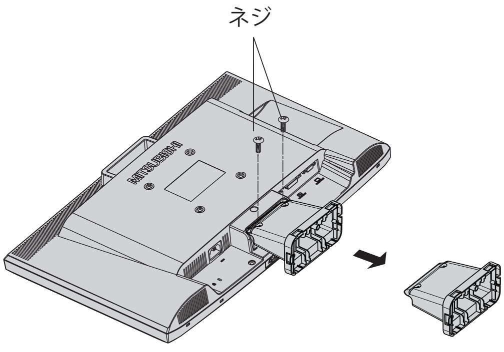
● 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しています。

■アームを取り付ける際は、下記要領で取り付けてください。

1 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、信号ケーブル、電源コードを取り外してください。
その後、本体のネック部を取り付けている2本のネジを取り外し、ネック部を引き抜いてください。

お 願 い

● 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、表示部を傷付けないように下向きに置いておこなってください。



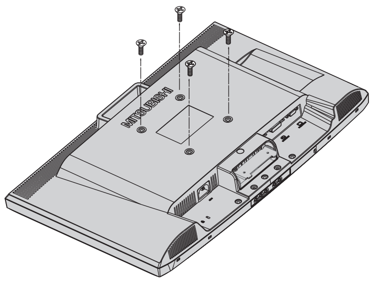
【ネック部の取り外し】

2 アームを取り付ける前にVESA穴の4本の化粧用の皿ネジを取り外してください。

お 願 い

● ネック部を取り付ける場合は、逆の手順でおこないます。
その際は必ずネック部取り付けに使用していたネジを使ってください。
仕様の異なるネジを使用されると本機が故障する原因になる恐れがあります。

● ネジを締め付ける際は付け忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締め付けてください。
なお、ネック部の取り付けはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

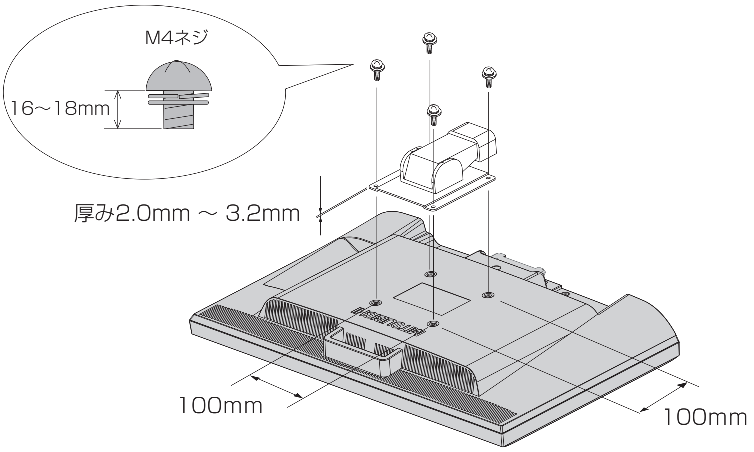


【VESA穴ネジの取り外し】

3 右記のようにアームを取り付けてください。

取付可能アーム：
　取付部厚み　2.0 mm ～ 3.2 mm
　VESA規格準拠　100 mmピッチ

ネジゆるみ防止のため、すべてのネジをしっかりと締めてください。
（但し、締め付けすぎるとネジがこわれることがあります。98～137 N･cmが適切な締付トルクです。）



※　上記アームの取付部形状は参考例です。

市販のアームを取り付けるとき（つづき）

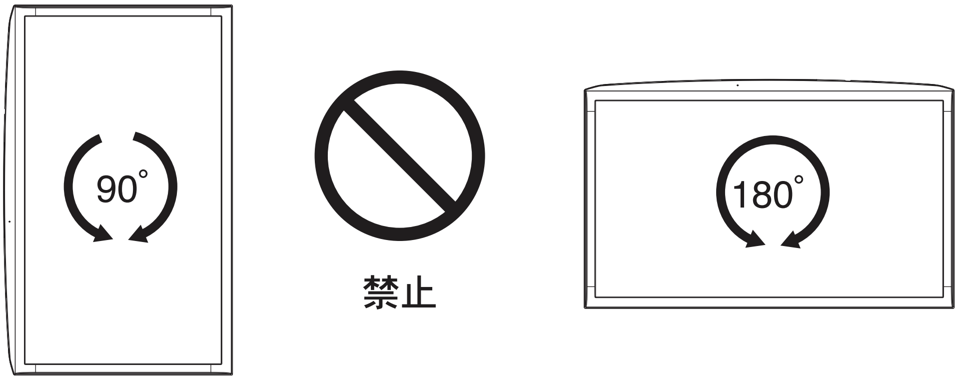
⚠注意

落下防止のために

- 液晶ディスプレイを倒したまま固定できないときは、2人以上で取り付け作業をおこなってください。
  落下してけがの原因になります。
- 取り付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。
  また、地震などでの製品の落下によるけがなどの危害を軽減するために、設置場所などは必ずアームメーカーへご相談願います。
  万一、地震などで落下の恐れがある場所での就寝はしないでください。
- アームの取り付けはお客様の責任においておこなってください。
  万一事故が発生した場合でも、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

火災や感電防止のために

- アームを取り付ける際は、必ず下記に示すネジを使ってください。
  それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障したり火災や感電の原因になる恐れがあります。
  緩み止めスプリングワッシャ付き鉄製M4ネジ（長さ16〜18 mm）
- アームを取り付けてご使用される場合でも、90° 回転や180° 回転した状態でご使用しないでください。
  内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

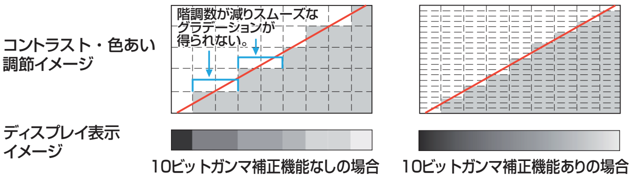


用語解説

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

10ビットガンマ機能 P3

RGB各色256階調の映像信号に、10ビットの多階調化されたルックアップテーブルを活用。
より高精度なコントラスト・色あい補正をおこなうことができます。きめ細かくなめらかな階調表現が得られるとともに、色の分解能が向上し、色補正に欠かせないガンマ補正を高精度におこなうことができます。



CRO (Contrast Ratio Optimizer) P28、P51、P52

映像の明るさに応じて、バックライトの輝度をリアルタイムに制御します。画面全体が暗い場合でも、深みのある黒を映し出します。

DDC 2B規格 (Display Data Channel) P38

ディスプレイとコンピューターの間で、設定情報などを双方向でやり取りできる国際規格です。

DDC/CI規格(Display Data Channel Command Interface) P31

VESAが提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

DPM (Display Power Management) P38

VESAが提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPM では、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

DV MODE (Dynamic Visual MODE) P28、P35

表示する内容に合わせて適切な画面を選べる機能です。
下記の7つのモードから選択できます。
静止画：「スタンダード」「IVテキスト」「青色低減」「sRGB」
動画　：「TV」「シネマ」「ルックアップ」

DVI-A端子 (Digital Visual Interface-Analog) P15

アナログ入力のみに対応しているDVI端子です。

DVI-D端子(Digital Visual Interface-Digital) P15

デジタル入力のみに対応しているDVI端子です。

DVI-I端子 (Digital Visual Interface-Integrated) P15

デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子です。接続するケーブルあるいは変換アダプターによって入力の使い分けが可能となります。

HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection System) P51

デジタル映像信号を暗号化する著作権保護システムです。HDCPに対応した映像機器を接続することにより、HDCPで保護された映像コンテンツを視聴することができます。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) P15

DVDレコーダー／プレーヤーなどと接続できるAV用のデジタルインターフェイスです。コンポーネント映像信号と音声信号、制御信号を1本のケーブルで接続できます。

Plug&Play P38

Windows®で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

sRGB規格 P28

IEC(International Electrotechnical Commission)により規定された色再現国際規格です。sRGB対応のディスプレイなら、ネットワーク上でどのディスプレイでも色調を揃えることができる規格で、対応プリンター、スキャナー、デジタルカメラなどとの色合わせもし易くなります。

VESA規格 (Video Electronics Standards Association) P38、P47、P51

ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

位相 P29

アナログ映像信号のA/D変換用サンプリングクロックの位相調節機能です。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

応答速度 P51

表示している画面を変化させたときの画面の切り換わりの速さ（追従性）のことで、数値が小さいほど応答速度は速くなります。応答速度は黒→白→黒の階調変化に要する時間の合計です。

オーバースキャン P28

ディスプレイの表示画面において、入力有効画像の外周部を表示画面からはみ出した状態にすることです。（はみ出した部分は、画面には表示されません。）
通常のテレビは、オーバースキャンの状態で調節されています。

輝度 P51

単位面積あたりの明るさのことで、数値が大きいほど表示画面が明るくなります。

コントラスト比 P51

白と黒の明るさの比率を示す指標のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

残像 P8

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることを推奨します。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

用語解説（つづき）

視野角 P51
斜めから見た場合など、規定のコントラスト比が得られる角度のことで、数値が大きいほど広い範囲から画像を見ることができます。

水平周波数／垂直周波数（リフレッシュレート） P37
水平周波数：1秒間に表示される走査線の数のことで、水平周波数31.5 kHzの場合、1秒間に走査線を31,500回表示するということです。
垂直周波数（リフレッシュレート）：1秒間に画面を何回書き換えているかを表します。垂直周波数が、60 Hzの場合、1秒間に画面を60回書き換えているということです。

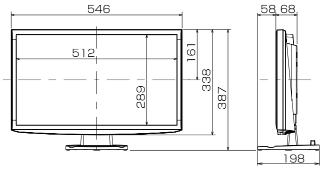
チルト角度 P19、P51
ディスプレイ画面を上向きや下向きに動かせる角度のことです。

ノータッチオートアジャスト／NTAA(No Touch Auto Adjust) P38
コンピューターから新しい信号を受信するたびに自動的に画面を適切な状態にする機能です。

パワーマネージメント機能 P38
コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない（一定時間以上キー入力がないなど）場合に、電力消費を低下させます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

表示画素数／解像度 P37、P51
一般的には「解像度」と呼ばれています。1画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が大きいほど多くの情報量を表示することができます。

仕様

形名			RDT235WLM	RDT235WLM(BK)	RDT235WLM-S(BK)
外形寸法（mm）					
液晶パネル	サイズ（表示サイズ）		23型（58.4 cm）		
	液晶方式		TN ノングレア（反射防止）	TN ノングレア（反射防止）	TN グレア（光沢）
	有効表示領域		509.2×286.4 mm		
	表示画素数		1920×1080		
	画素ピッチ		0.265 mm		
	表示色		約1677万色（約10億6433万色中）		
	視野角		左右　170°、上下　160°（コントラスト比10）		
	輝度（標準値）		240 cd/m^2		
	コントラスト比		8000：1（CRO非動作時 1000：1）		
	応答速度		5ms		
	バックライト		白色LED		
PC入力	水平周波数		31.5～82.3 kHz		
	垂直周波数		56～75 Hz		
	ビデオ信号		デジタルRGB、アナログRGB		
	同期信号		デジタル入力：TMDS アナログ入力：セパレート同期信号（TTL）		
	信号入力コネクター		デジタル入力：DVI-D（HDCP対応※2）、HDMI アナログ入力：ミニD-SUB15ピン		
ビデオ入力　※1　（PC入力コネクターと共用）			HDMI		
音声入出力	入力コネクター		φ 3.5 mm ステレオミニジャック		
	スピーカー		1 W+1 W（ステレオ）		
	ヘッドホン		φ 3.5 mm ステレオミニジャック		
適合法規格等	安全		電気用品安全法、S-TÜV		
	不要輻射		VCCI-B、低周波電磁界ガイドライン		
	エルゴノミクス		ISO13406-2（準拠）		
	プラグ&プレイ		VESA DDC2B		
	その他		PCグリーンラベル（★★☆ V12）、グリーン購入法、J-Mossグリーンマーク、DDC/CI、Windows® 8		
使用環境条件	温度		5～35 ℃		
	湿度		30～80%（結露の無いこと）		
電源	電源入力		AC 100 - 240 V、50/60 Hz		
	消費電力	標準	31 W		
		通常時※3	16 W		
		省エネモード	スリープモード時：0.5 W以下（AC100 V時） オフモード時：　0.35 W以下（AC100 V時）		
	電源入力コネクター		3P　IECタイプ		
質量	ディスプレイ本体	スタンド含む	約 4.3 kg		
		スタンドなし	約 4.0 kg		
キャビネット色			ホワイト	ブラック	ブラック
梱包状態（質量／寸法）			約 6.0kg／584 (W)×429 (H)×131 (D) mm		
チルト角度／スィーベル角度／高さ調節／縦型表示			上20°、下5°／機能なし／機能なし／機能なし		

お知らせ

- 本仕様は予告無く変更される場合があります。
- 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。
- 本機は、解像度1920×1080以外の信号を入力した場合、信号によって文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

※1　480iの信号が入力された場合はコンテンツによってはちらつきが発生する場合がありますので、AV機器側の解像度設定を他の信号タイミング(480p、1080i、720p、1080p)に切り換えてご使用ください。
※2　MacintoshでのHDCP対応は非サポートです。
※3　画面寸法比80%、輝度120cd/m^2の白ウィンドウ画面時の消費電力、音量設定：最小、外部機器非接続時（当社独自の測定結果による）。

さくいん

英数字

10ビットガンマ機能 3,49
CRO(Contrast Ratio Optimizer) 28
DDC 2B規格 38,49
DDC/CI 32
DDC/CI 規格 49
DPM 38,49
DVI-D端子 15,49
DVI-I 端子 15,49
DVI-D－DVI-Dケーブル 4,15
DV MODE 28,35
ECO PROF. 31
ECO設定 23,31
ECOメーター表示 23,31
HDMI 3,4,11,15,16,49,51
HDCP 49
IVテキスト 28,35
LEDバックライト 40
Macintosh 37,51
NTAA(No Touch Auto Adjust) 38,50
NO SIGNAL 42,43
OSD 24～36
OSD画面の構成 24
OSDの基本操作 25
OSDのメニュー　一覧 26
OSD表示時間 34
OSD水平位置 34
OSD垂直位置 34
OUT OF RANGE 42
Plug & Play 38,49
sRGB 28,35
TV 28,35
VESA 規格 38,47,49
Windows® セットアップ情報 22
◀、▶ボタン 10,21,23,25

あ

青色低減 28,35
明るさ 27
アース線 5,18
アスペクト 35
アフターサービス 45
安全のために必ずお守りください 5～8
青色 27
赤色 27
位相 29,49
色あい 27
色温度 27
色のこさ 27
映像モード 28
オーバースキャン 3,28,49
オーディオケーブル 4,16
オートセットアップをする 21
オートセットアップ 29
応答速度 51
オフタイマー 31
音声 30
音声選択 30
音量 30

か

外形寸法 51
回収 44
解像度 37,50,51
画質 27
画面サイズ 28,35
画面に何も映らない 39
画素ピッチ 51
拡大・スムージングファイン機能 38
角度を調節する 19
各部のはたらき 10,11
簡易表示機能 38
輝度 49,51
黒白伸張 28
ケーブルホルダー 11,18
言語(LANGUAGE) 34
工場プリセットタイミング 37
黒点／輝点 40
故障かな？と思ったら 39～43
個人情報の取り扱い 45
困ったとき 39～45
コントラスト 27
コントラスト比 49,51

さ

再梱包するとき 46
残像 8,40,50
質量 51
シネマ 28,35
市販のアームの取り付けるとき 47
視野角 51
シースルー調節 23,31
シャープネス 28
修理相談窓口 45
仕様 51
省エネ電力量リセット 31
消音 30
消画モード 31
使用環境条件 51
使用上のお願い 9
白色LED 51
白黒表示 10,32
消費電力 38,51
情報 34
初期設定に戻す 33
シンク設定 33
信号ケーブル 4,15
信号ケーブルを接続する 14,15
信号入力コネクター 51
推奨信号タイミング 37
垂直位置 29
垂直周波数 50,51
水平位置 29
水平サイズ 29
水平周波数 50,51
スタンド 10,13,46,47
スタンダード 28,35
スピーカーから音が出ない 43
スリープモード 38
製品情報 34
接続 14,15,16
設置する 19
セットアップガイド 4
操作ボタン 10
操作ロック 34,36

た

ちらつく 41
調整 29
チルト角度 19,51
ツール 32
適合規格等 51
電源コード 4,18
電源自動オフ 31,40
電源スイッチ 10
電源ランプ 10,38,39
電源電圧 8,18
電源入力コネクター 11,18,51
電源プラグ 18
電源容量 18
電源コードを本機に接続する 18
盗難防止用ロック穴 11
同期信号 37,51

な

入力信号 37
入力切換／戻るボタン 10,25,36
ノータッチオートアジャスト機能 38

は

廃棄する 44
パワーマネージメント機能 38,51
表示色 41
表示画素数 51
表示状態がおかしい 40,41
ビデオ入力 51
付属品 4
ブラックレベル 27
付録 46～52
ベーススタンド 4,13,46
ヘッドホン端子 10,20
ヘッドホンを接続する 20
ホットキー設定 32
本体正面 10
本体背面 11
変換アダプター 15
保証とアフターサービス 45
保証書 4,45

ま

ミニD-SUB15ピン 4,11,15,51
メニュー/▼ボタン 10,21,24,25,36

や

ユーザーメモリー機能 37
有効表示領域 51
用語解説 49,50

ら

リサイクル 44
リフレッシュレート 42,50
ルックアップ 28,35
ロックの設定 36
ロックの解除 36

三菱電機株式会社
京都製作所　〒617-8550　京都府長岡京市馬場図所1番地

AW-P1399A